

Coselgi C-tune II

取扱説明書

バージョン4.9以降

Copyright © WSAUD A/S. 無断複写・転載を禁じます。



WSAUD A/S, Nymoellevej 6, DK-3540 Lynge, Denmark
www.widex.com



カナダの登録製造業者:

WS Audiology Canada Inc.,
5041 Mainway, Burlington, Ontario, L7L 5H9

文書 : 9 514 1152 016 02

デジタルユーザーガイド : www.wsaud.com

発行日 : 2025-04



C-tune II

インストールと準備

はじめに

Noah 4 内で動作するように設計された C-tune フィッティングソフトウェアをご利用いただきありがとうございます。C-tunw を利用すると、DinamicoとCoselgiの新しい補聴器を簡単にフィッティングできます。このガイドでは、このガイドでは、インストール前の準備、インストール手順、自動更新、簡単なフィッティングソフトウェアの使い方とヘルプ機能について説明します。

用途：C-tune II は、補聴器の調整やアクセサリの設定のために HCP（聴覚専門医）が使用するものです。

フィッティングソフトウェアの使用に特別なトレーニングは必要ありません。

お子様のフィッティング



クライアントデータベースには、必ずお子様の正しい生年月日を入力してください

幼いお子様は大人よりも外耳道が小さいため、補聴器からお子様の鼓膜に高すぎる音圧レベルを与えないよう、特別な注意が必要です。

- クライアントデータベースには、必ずお子様の正しい生年月日を入力してください。C-tune II はこの情報をもとに、10 歳未満のすべてのお子様のフィッティングに年齢別の実耳カプラ差（RECD）補正を適用します。
- さらに精度を高めるには、実耳またはテストボックスでの測定によって、ターゲットとの一致を検証する必要があります。

注：深刻な問題が発生した場合は、補聴器のメーカーにお問い合わせの上、問題を報告してください。

インストール前の準備

ソフトウェアをインストールする前に、お使いのパソコンシステムが動作環境条件を満たしているか、機能を使用するために必要な他のソフトウェアがすでにインストールされているかどうか確認してください。他のソフトウェアが必要な場合、インターネット経由でダウンロードするか **Coselgi** へお問い合わせください。

システム動作条件

システムがフィッティングソフトウェアの動作条件を満たしているか確認する必要があります。最も重要な条件を下表に示します。

最低動作条件	
インターネットとセキュリティ対策	フィッティングソフトウェアは、インターネット接続の有無にかかわらず機能します。ただし、更新モジュールの動作や、データシートおよびその他のドキュメントの表示には、インターネット接続が必要になります。 使用するコンピュータに最新のアンチウィルスシステムとファイアウォールがインストールされていることを推奨します。フィッティングソフトウェアはユーザーデータを含みません。ユーザーデータは、 Noah System など、ユーザーデータシステムに保管されます。ユーザーデータシステムはパスワードまたは物理的なアクセスコントロールで保護することを推奨します。
OS	Windows 10 Pro、バージョン 1607 以降*
Microsoft .NET Framework	.NET Framework 4.7.2 nEARcom 使用時には、.NET 2.0 (.NET Framework 3.5 含む) が必要
RAM	2 GB
CPU	1.8 GHz
ハードディスク	1000 MB 空き容量
Windows 電源プラン	高パフォーマンス
HIMSA Noah	C-tune II はスタンドアロンデータベースで動作可能ですが、Noah を使用している場合は Noah 4 が必要です
スクリーン解像度	1366x768
スケールとレイアウト（フォントサイズ）	100% が推奨されます
Noah システム	バージョン 4.16 (最新バージョンを推奨)

*なお、ARM ベースの Windows 10 S と Windows Home はサポート対象外であり、Windows の登録とアクティベーションが必要です。Windows の登録とアクティベーションが必要です。また、Snapdragon プロセッサを含む ARM ベースの Windows は、Noah および Noahlink Wireless ではサポートされていない点にご留意ください。

Intel UHD 730 または Intel UHD 770 のグラフィックカードを搭載した PC で問題が発生していることが確認されています。これらのグラフィックカードは使用しないことをお勧めします。

C-tune II V4.9 に必要な条件	
Microsoft Visual C++	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Visual C++ 2017 (x64) Microsoft Visual C++ 2017 (x86) Microsoft Visual C++ 2013 (x86)
Microsoft .NET Framework	Microsoft .NET Framework 4.7.2
<p>上記のうち 1 つ以上がない場合、C-tune II インストーラーは、実際の C-tune II のインストール開始の前に、これらのインストールを必要な条件として行います。少なくとも .NET のインストール後に再起動が要求されます。</p> <p>すべてのインストールファイルは、フォルダ \ISSetupPrerequisites\ にあります</p>	
{237BF186-A2AF-48C2-BFC9-0AA2DA3829DD}	Microsoft Visual C++ 2017 (x64)
{72AAD3AB-420C-41F0-9BE5-D854C4037DEF}	Microsoft Visual C++ 2017 (x86)
{BFF4A593-74C5-482F-9771-7495035EBB0}	Microsoft .NET Framework 4.7.2
{C3DFB4AD-52AB-442A-A51C-04ED229A8540}	Microsoft Visual C++ 2013 (x86)
USBLink	Widex USB Link ドライバー

Windows Update

フィッティングソフトウェアをインストールする前に Windows が最新の状態になっているか確認してください。更新方法については、Microsoft サポートサイトを参照ください。

C-tune II のインストール

Coselgi C-tune II のインストールは、WIDEX COMPASS GPS のインストールに含まれています。WIDEX COMPASS GPS をインストールする場合は、以下を参照してください。

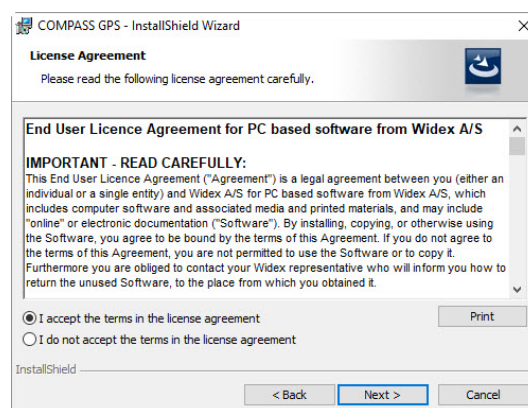
注：最新バージョンの Noah 4 を使用して、Noah のインストール状態を最新に保つことをお勧めします。

注：Coselgi C-tune II は、COMPASS GPS の使用可能言語すべてをサポートしているわけではありません。

フィッティングソフトウェアをインストールするには、以下の指示に従ってください。インストールの前に Noah ソフトウェアを終了していることを確認します。Noah のインストールについては、Noah の資料を参照してください。ネットワークでお使いの場合、ネットワーク上の各クライアントとなっているパソコンにフィッティングソフトウェアをインストールします。

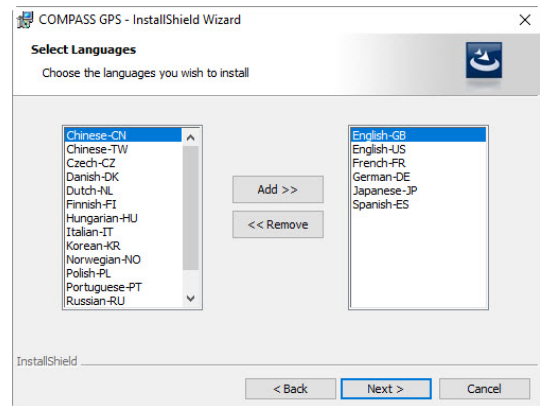
下記の手順に従って C-tune ソフトウェアをインストールしてください。

1. インストールメディアにある「Setup.exe」を探し、ダ

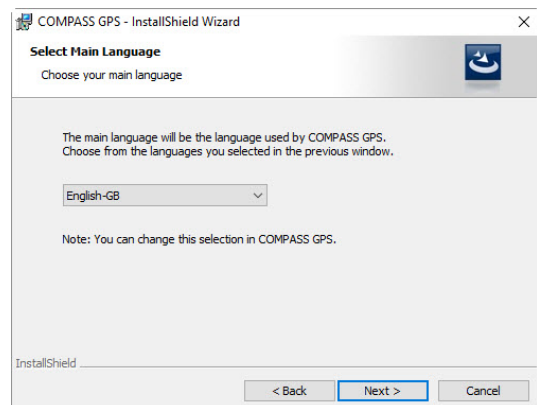


ブルックリックします。

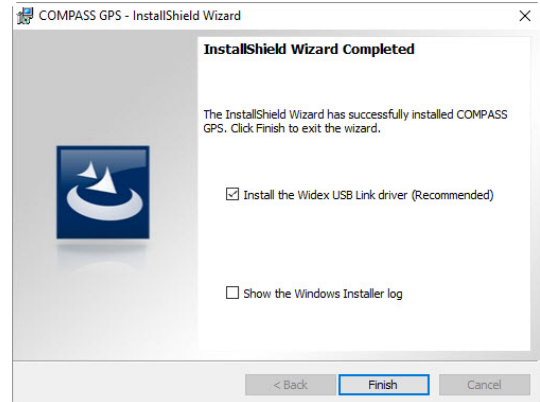
2. 「次へ」ボタンを押します。
3. ライセンス契約の内容を確認の上、「ライセンス契約の内容に同意します」のラジオボタンを選択します。「印刷」ボタンを押せば、ライセンス契約を印刷することもできます。
4. 「次へ」ボタンを押します。
5. インストールするフィッティングソフトウェアを選択します。「**Coselgi C-tune II**」か「**Widex COMPASS GPS**」のいずれか、または両方を選択します。「次へ」ボタンを押します。



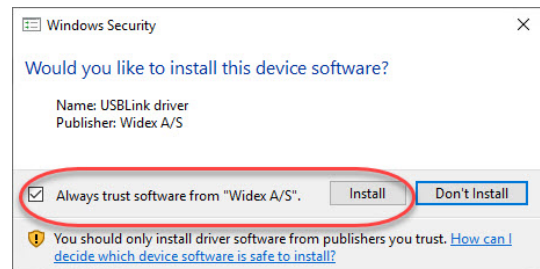
6. 「次へ」ボタンを押して、デフォルトのインストール先フォルダを使用します。また、「変更」ボタンを押して、フィッティングソフトウェアをインストールする別の場所を選択し、「次へ」ボタンを押します。
7. ソフトウェアで使用する言語を選択します。左欄リストで言語を選択し、「追加」ボタンをクリックします。これで選択した言語が右欄の言語リストに移動します。取り消す場合には「削除」ボタンを押して、選択した言語リストから削除します。
8. 使用する言語を選択したら「次へ」ボタンを押します。
9. メイン言語を選択します。ソフトウェアはこの言語で起動しますが、プログラム内からインストールした言語を切り替えることができます。
10. 「次へ」ボタンを押します。
11. 「販売店を選択」ウィンドウで、ドロップダウンリストから国を選択します。
12. チェックボックスをオンにして、プログラムの自動更新を有効にすることをお勧めします。自動更新の詳細については後ほど説明します。
13. 「次へ」ボタンを押します。
14. 「インストール」ボタンでインストールを開始します。インストール中に、インストールを中止する場合は「キャンセル」ボタンを押します。
15. インストールが成功すると **Widex USB Link** ドライバーのインストールをするか問われます。



- ドライバーをインストールしない場合やすでにインストールされている場合は、「終了」を押します。これでインストールプログラムが終了します。
- **Widex USB Link** ドライバーをインストールする場合、チェックボックスをオンにし、「終了」を押します。インストールプログラムが終了し、続いて **Widex USB Link** ドライバーのインストールが開始します。ドライバーのインストール時に **Widex USB Link** がパソコンに接続されていないことを確認してください。



16. **Widex USB Link** ドライバーのインストールを選択した場合、**Widex USB Link** ドライバーのインストールが開始します。「次へ」ボタンを押します。
17. **Windows** セキュリティ画面が表示された場合、ソフトウェアをインストールするか問われます。「**Widex A/S** のソフトウェアを常に信頼する」を選択してからインストールします。
18. インストールが完了したら、インストールウィザードの最後の画面で「終了」ボタンを押します。これで **Widex USB Link** インストールプログラムが終了します。
19. パソコンを再起動してから、**C-tune II** の使用を開始してください。



C-tune II のアンインストール

Coselgi C-tune II をアンインストールする必要がある場合は、コントロールパネルを開いてからプログラムと機能を開きます。**Widex COMPASS GPS** をアンインストールします。これで **Coselgi C-tune II** と **Widex COMPASS GPS** の両方がアンインストールされます。

COMPASS GPS がインストールされている状態での C-tune II のインストール

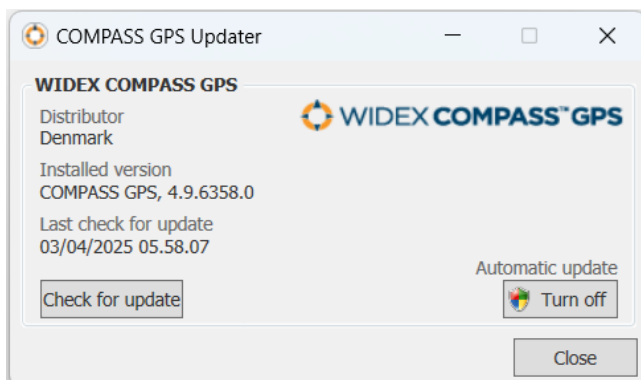
インストール済みの **COMPASS GPS** のバージョン番号が、開いたインストールバージョンより低い場合、初めてインストールを実行したときに **COMPASS GPS** が新しいバージョンに更新されます。ここでは **C-tune II** ソフトウェアはインストールされません。

もう一度インストールを実行してインストール内容を変更します。この処理で **C-tune II** のインストールを選択します。

自動更新

自動更新サービスプログラムで、**C-tune II** と **COMPASS GPS** のインストール状態を最新に保つことができます。フィッティングソフトウェアの新しいバージョンは、インターネット上の更新サーバーから入手できます。

フィッティングソフトウェアのインストール時に「自動更新」にチェックすると、**Windows** を起動した際に毎回更新モジュールが起動します。このモジュールは **Windows** タスクバーに表示されており、フィッティングソフトウェアに新しいバージョンがないかチェックします。更新内容は自動的にダウンロードされ、ダウンロードした更新内容や新しいバージョンをインストールするか問われます。



アイコンをクリックして更新モジュールプログラムを開きます。インストールされている **COMPASS GPS/C-tune II** のバージョン情報と新しいバージョンの情報が表示されます。

新しいバージョンがない場合、「使用中の **COMPASS GPS** は最新」と表示されます。

自動更新機能を無効にしている場合でも、フィッティングソフトウェアの新しいバージョンを確認したい場合は、「スタート」メニューから **COMPASS GPS** 更新モジュールプログラムを起動します。アップデーターは、「概要」ダイアログボックスから使用することもできます。

「更新の確認」ボタンを押します。更新モジュールが新しいバージョンをダウンロードできるか確認します。新しいバージョンがあれば、ダウンロードしてインストールできます。

C-tune の起動

C-tune をインストールしたら、すぐに使用できます。プログラムの起動方法は、お使いのシステムによって異なります。

Noah 4 がインストールされている場合に、先に **Noah** を起動せずに **C-tune** を起動すると、フィッティングソフトウェアが自動的に **Noah** の中で起動し、**Noah 4** へのログインを求められます。**Noah** ユーザーブラウザが表示されるので、ユーザーを選択し、既存のフィッティングを開くか、新しいセッションを作成します。

Noah 4 がインストールされている場合に、**Noah** から **C-tune** を起動すると、**Noah** のユーザー一覧から選択されたデータを使用するプログラムに直接移動します。ユーザーを選択していない場合、**C-tune** を開く前に **Noah 4** ユーザーブラウザが表示され、ユーザーを選択できます。

Noah がない場合の C-tune

Noah がインストールされていない場合、スタンドアローンとして **C-tune** を起動すると、スタンドアローンデータベースに直接移動します。

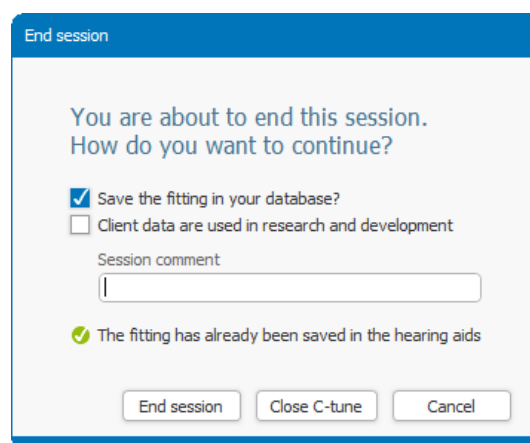
1. デスクトップで **C-tune** アイコンをダブルクリックするか、「スタート」メニューのアイコンをクリックします。**C-tune** へのログインを求められます。
2. イニシャルとパスワードを入力して、「ログイン」を押します。スタンドアローンデータベースが開きます。
3. ユーザーを新規作成または選択し、**C-tune** でフィッティングをします。ソフトウェアを開く前にユーザーを選択している必要があります。初めて使用する際は、ユーザーの新規作成から始めます。

C-tune の終了

フィッティングが終わったら、**C-tune** ウィンドウ右上の「セッションの終了」をクリックし、データ保存後、セッションを終了します。

ダイアログボックスに 3 つの選択肢が表示されます。

- 「セッションの終了」 データ保存後にウィンドウを閉じます。スタンドアローンデータベース画面に戻ります。
- 「**C-tune** を閉じる」 データ保存後に **C-tune** ウィンドウと スタンドアローンデータベースの両方を閉じます。
- 「キャンセル」 **C-tune** ウィンドウに戻ります。



The image shows a dialog box titled "End session". The text inside says "You are about to end this session. How do you want to continue?". There are two checkboxes: "Save the fitting in your database?" which is checked, and "Client data are used in research and development" which is unchecked. Below these is a text input field labeled "Session comment". At the bottom, there is a green checkmark icon and the text "The fitting has already been saved in the hearing aids". At the very bottom, there are three buttons: "End session", "Close C-tune", and "Cancel".

ヘルプの参照

C-tune の使い方に不明な点がある場合、各種のヘルプ資料を参照できます。ソフトウェアのツールメニューにあるクエスチョンマーク (?) アイコンをクリックします。

- **クイックガイド** – プログラムの代表的な項目に関するさまざまなクイックガイドを参照できます。クイックガイドはインターネットで開きます。インターネットを利用できる場合のみ表示できることにご注意ください。
- **C-tune** について – インストールされている **C-tune** のバージョンの確認や、さまざまなサポートツールを利用できます。

さらに、画面に表示されている数多くの要素に関するヒントも確認できます。これら要素のいずれかにしばらくポインターを置くと、隣にヒントが表示されます。

C-tune のインストールメディアに不具合がありましたら、販売店までお問い合わせいただき、新しいメディアを入手してください。ソフトウェアを使う上で問題があり、解決する必要がある場合、販売店までお問い合わせいただくか、**Widex**。

この“スタートアップガイド”は電子データで供給されています。印刷版をご希望の場合は、<http://widex.pro/gps-startup-guide> で無償で入手できます。配送には 7 営業日ほどかかります。また“スタートアップガイド”は、

<http://widex.pro/gps-startup-guide> からダウンロード可能です。








重要な情報

規制情報

使用目的	フィッティングソフトウェアは、補聴器の調整や付属品の設定のために聴覚ケア専門家 (HCP) が使用するものです。
対象とする使用者	フィッティングソフトウェアは、認定された聴覚ケア専門家に使用されることを意図しています。
対象とする顧客ターゲットグループ	フィッティングソフトウェアは、難聴者に補聴器をフィッティングする HCP 向けに設計されています。
ご使用にあたって	補聴器ユーザー一人ひとりに合わせた補聴器のフィッティングを確実にを行うため、難聴の程度、耳のサイズや形に最も適したイヤモールドまたはイヤチップを HCP が選択し、フィッティングソフトウェアを使用して補聴器 (それぞれのイヤピースが設定されたもの) をフィッティングします。
禁忌	このフィッティングソフトウェアに特有の禁忌事項はありません。禁忌は互換性のある補聴器に由来し、補聴器の取扱説明書に記載されています。
臨床的効果	補聴器システムの意図する臨床的効果は、日常生活における聴覚障害の補正を提供することです。
性能特性	補聴器を通して医学的効果が達成されるため、フィッティングソフトウェア自体は直接的な医療目的を持ちません。フィッティングソフトウェアの目的は、難聴者のニーズに合わせてプログラム可能な補聴器を調整すること、すなわち、補聴器をフィッティングして微調整し、補聴器に付属品を組み合わせることです。フィッティングソフトウェアは、耳鼻咽喉科医、聴覚訓練士、音響技師などの HCP が操作する必要があります。
残留リスク	このフィッティングソフトウェアの全体的な残留リスクと全体的なリスク/ベネフィットプロファイルは許容範囲内です。重大な残留リスクは、安全のための情報を提供することで使用者に開示されます。
副作用	副作用はフィッティングソフトウェアではなく、互換性のある補聴器に由来するものです。

記号

医療機器の表示（ラベルや取扱説明書など）で Coselgi A/S によって共通して使用される記号

記号	タイトル	説明
	製造元	製品は、名称および住所が記号の横に記載されたメーカーにより製造されています。
	取扱説明書を参照	取扱説明書には重要なお知らせが記載されていますので、ご使用前に必ずお読みください。
	警告	警告記号を伴う事項は、製品のご使用前に必ずお読みください。
	CE マーク	製品は、CE マークに関する欧州指令によって定められた要件に適合しています。
	シリアル番号	UDI バーコードとともに製品のバージョンを特定する製造番号
	カタログ番号	製品のカタログ（品目）番号を示します。
	医療機器	本機器が医療機器であることを示します。

Copyright © Coselgi.無断複写・転載を禁じます。

文書バージョン 7.0。発行年月：2025 年 04 月



C-tune II

聴力データ

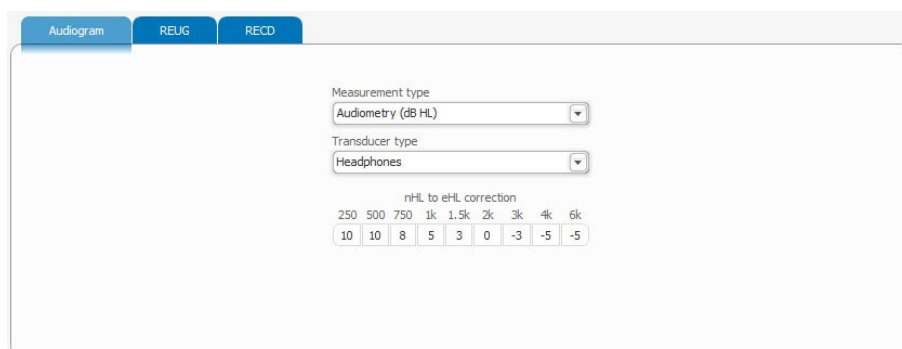
はじめに

このクイックガイドは、C-tune II の聴力データツールについて説明します。「セッションスタート」または「フィッティング」画面に聴力データツールがあります。聴力データツールには、オーディオグラムと REUG、RECD に関する簡単な説明があります。

しかし、このウィンドウでは実際のオーディオグラムを測定できません。データベースに接続したオーディオグラムモジュールか、スタンドアロンデータベースの「オーディオグラムの入力」オプションを使用する必要があります。C-tune はそのオーディオグラムデータを使用して補聴器フィッティングを計算します。

オーディオグラム

オーディオグラムタブは画面の下半分に表示されます。このタブでは、ユーザーのオーディオグラムを確立する際に使用した聴力状況を登録できます。C-tune が補聴器フィッティングに使用する聴力しきい値を解釈する際に、この状況が考慮されます。このタブには次の選択肢があります。



The screenshot shows the 'Audiogram' tab selected in the C-tune II software. It contains two dropdown menus: 'Measurement type' set to 'Audiometry (dB HL)' and 'Transducer type' set to 'Headphones'. Below these is a table for 'nHL to eHL correction' with frequency headers (250, 500, 750, 1k, 1.5k, 2k, 3k, 4k, 6k) and correction values (10, 10, 8, 5, 3, 0, -3, -5, -5).

nHL to eHL correction								
250	500	750	1k	1.5k	2k	3k	4k	6k
10	10	8	5	3	0	-3	-5	-5

- ドロップダウンリストから「測定タイプ」を選択します。行動聴力（聴力データ、dB HL）、dB に標準化された聴力レベルで確立された聴性脳幹反応（ABR、dB nHL）、dB で推定される聴力レベルで確立された聴性脳幹反応や聴性定常反応（ABR/ASSR、dB eHL）から選択できます。
- ドロップダウンリストから「トランスデューサータイプ」を選択します。使用可能なトランスデューサーの一覧は、選択した測定タイプによって異なります。「インサートイヤホンとスポンジ耳栓」「イン

クイックガイド

「サートイヤホンとイヤモールド」は常に一覧に表示されます。ただし、測定タイプで聴力測定（dB HL）を選択した場合、さらに「ヘッドホン」、「自由音場（0°）」、「自由音場（45°）」、「自由音場（90°）」が追加されます。

- 「測定タイプ」ドロップダウンボックスで **ABR（dB nHL）** を選択した場合のみ、フィッティングに使用する値を「nHL」から「eHL」に変換できます。

REUG

「REUG」タブは「オーディオグラム」タブの隣にあります。

「REUG」タブでは、ユーザーの REUG 測定値を個別に入力できます。**C-tune** はその個別の REUG 測定値を使用して、補聴器フィッティングを補正します。

まず、タブの中央にあるラジオボタンで、REUG 平均値と個別の REUG 測定値のどちらを使用するか選択します。デフォルトは平均値です。

REUG 値は 1dB ごとに変更できます。片側の REUG 値を反対側へコピーする場合は、「右耳/左耳にコピー」ボタンを使用します。

RECD

「RECD」タブは、「REUG」タブの隣にあります。

「RECD」タブでは、ユーザーの RECD 測定値を個別に入力できます。**C-tune** はその個別の RECD 測定値を使用して、補聴器フィッティングを補正します。

まず、タブの中央にあるラジオボタンで、RECD 平均値と個別の RECD 測定値のどちらを使用するか選択します。デフォルトは平均値です。

個別の RECD 測定値を使う場合、測定に使用した 2cc カプラとトランスデューサータイプをドロップダウンリストから選択します。そして、フィールドに測定値を入力します。

数値は 1dB ごとに変更できます。個別の RECD 測定値を反対側の耳にコピーする場合は、「右耳/左耳にコピー」ボタンを使用します。

クイックガイド

この文書は、電子データで供給されています。印刷版をご希望の場合は、<http://widex.pro/gps-startup-guide> で無償で入手できます。配送には 7 営業日ほどかかります。また、文書は <http://widex.pro/gps-startup-guide> からダウンロードできます。

Copyright © Coselgi. 無断複写・転載を禁じます。

文書バージョン : 5. 0. 発行日 : 2025 年 4 月



C-tune II

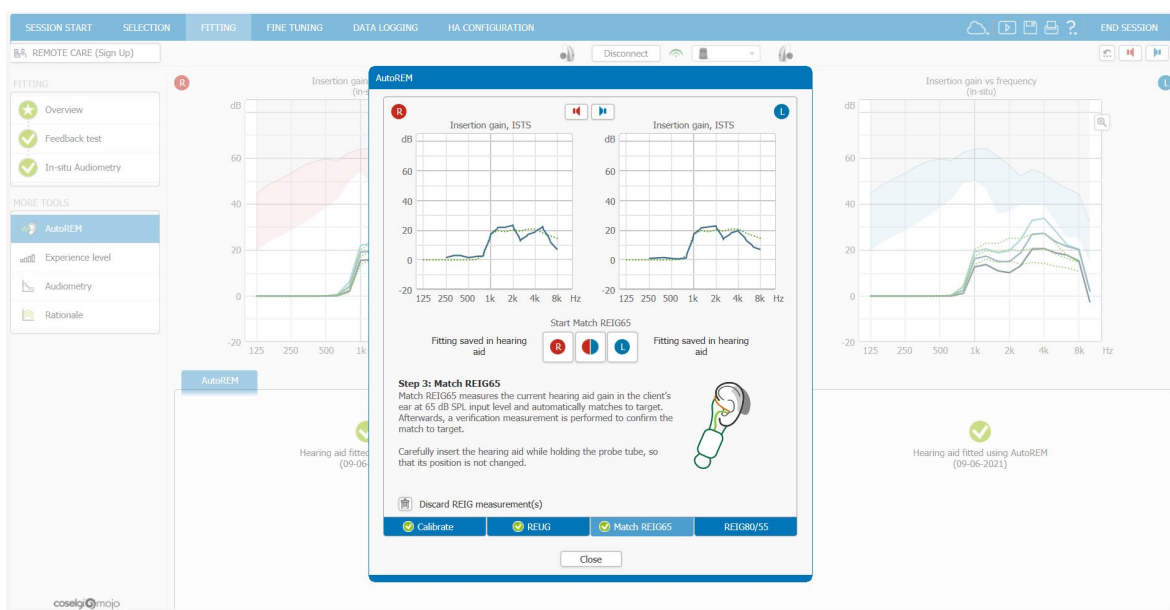
AUTOREM

はじめに

このクイックガイドは、C-tune II の AutoREM ツールについて説明します。AutoREM ツールはフィッティング画面にある左側のナビゲーションバーからアクセスできます。

AutoREM では、国際音声試験信号（ISTS）の 65dB SPL 入力信号で、通常音声を自動的に目標に合わせる統合型実耳測定（REM）を行うことができます。

AutoREM ツールにより、通常は外部の REM 機器/ソフトウェアモジュールを通じて手作業で行われる、補聴器の統合型フィッティング検証を簡単に行うことができます。



ツールを使用する前に

AutoREM ツールを使用する前に以下にご注意ください。

- 機器：AutoREM 機能は、以下の外部ソフトウェア製品（および関連する外部ハードウェア）と連動します：OTOSuite、Affinity Suite、Primus Module/Measure Module、Unity Module。IMC2（Inter Module Communication Protocol No.2）に準拠しています□
- □ 換性：AutoREM ツールは、両耳あるいは片耳装用の Mojo 補聴器モデルで使用でき、C-tune II 内のすべての処方式で使用可能です：Coselgi のフィッティング理論（WFR）、NAL-NL2、DSL v5.0、小児または成人向け。
- 体験レベル機能は AutoREM では常にオフとなり、AutoREM を使用した後もオフの状態が維持されます。
- AutoREM はユニバーサル-1 プログラムのみに対応します。AutoREM を使用した後にプログラムを追加した場合、それらのプログラムは AutoREM によるすべての利得調整を継承します。AutoREM を使用した後にユニバーサル-1 に付属するプログラムを微調整する必要があり、AutoREM の結果に変更を加えない場合、このプログラムのリンクを解除して、プログラムごとに調整することができます。
- AutoREM ツールを使用する前にフィードバックテストと装用聴力検査を行うことが推奨されます。

4 ステップの簡単なワークフロー

AutoREM 画面の中央にある「**AutoREM を開く**」を選択して AutoREM を起動します。ダイアログボックスが開き、4 ステップの測定、校正、REUG、REIG65 のマッチングと REIG80/50 の進捗を示すわかりやすいワークフローが表示されます。

1. プローブチューブの校正

最初のステップの校正では、個々のプローブチューブ校正のため、プローブチューブ校正を行うことができます。これは新しいユーザーごとに変更する必要があります。

2. 実耳利得（REUG）測定

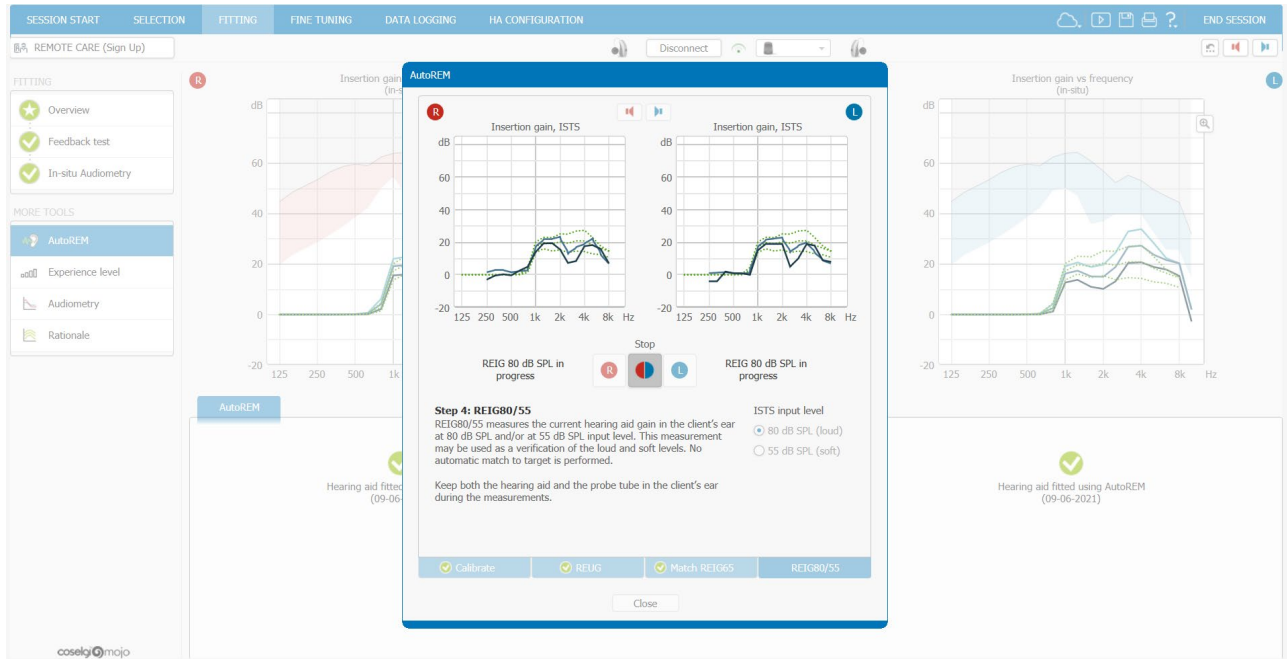
次のステップの REUG では、個々のユーザーで挿入利得を計算できるよう、ISTS 用に 65 dB SPL で実耳利得測定を行うことができます。

3. 実耳挿入利得（REIG）測定と 65 dB SPL 入力信号での目標への自動マッチング（ISTS）

REUG 測定が完了したら、3 つ目のステップである「**REIG65 のマッチング**」をクリックし、65 dB SPL 入力レベルでの現在の補聴器の REIG 測定を実行します。続いて AutoREM は、片耳ずつ個別に目標まで利得を自動的に調整し、その後再検証用の測定を行います。AutoREM をやり直すか削除する場合は、「**REIG 測定結果の破棄**」をクリックしてください。

4. 80 dB と 55 dB SPL 入力信号用の実耳挿入利得 (REIG) 測定 (ISTS)

大小 (ラウドとソフト) の入力音レベルで補聴器の利得を検証するために、80 dB および/または 55 dB SPL の入力レベルで REIG 測定を行う場合、4 つ目 (最終) のステップの「REIG80/55」を実行する必



要があります。これらの測定結果では、目標に沿うよう自動的に調整されません。

プロセスを通して、AutoREM ダイアログボックスの背後の C-tune II ウィンドウでパフォーマンスのグラフが更新され続けるため、フィッティングの状況を確認できます。ただし、画面の背後で表示されるパフォーマンスのグラフは標準耳を表示し、AutoREM ダイアログボックスでは個別の耳が表示される点にご注意ください。

AutoREM の 4 つの各ステップではミュート/ミュート解除ボタンを使用できます。

AutoREM が完了してダイアログボックスが閉じると、AutoREM ウィンドウでは各補聴器のチェックマークが表示され、AutoREM が完了したことが示されます。また、測定日も表示されます。

AutoREM が終了した後、微調整画面に進み、必要な場合にはさらに補聴器を微調整できます。

この文書は、電子データで供給されています。印刷版をご希望の場合は、<http://widex.pro/gps-startup-guide> で無償で入手できます。配送には 7 営業日ほどかかります。また、文書は <http://widex.pro/gps-startup-guide> からダウンロードできます。

Copyright © Coselgi.無断複写・転載を禁じます。

文書バージョン : 2.0。発行日 : 2024 年 4 月



C-tune II

スタンドアローンデータベース

スタンドアローンデータベースは、フィッティングソフトウェアに移る前に、ユーザーを作成して選択できる小さなデータベースです。このデータベースで、すべてのビジネスシステムにアクセスしなくても、ユーザーの基本情報、聴覚情報、すべてのフィッティングおよびオージオグラムセッションを追跡できます。Noah ビジネスシステムで C-tune II を実行している場合、C-tune II はスタンドアローンデータベースではなく、Noah データベースを使用します。

オージオグラムには HTL、BCL および UCL の測定値を入力可能です。データベースでは、ユーザーのオージオグラムの履歴を見ることができ、最新のオージオグラムを編集できます。最新のオージオグラムは、C-tune II による計算や推定に使用されます。

データベースの一覧には、ユーザーとともに行ったフィッティングとオージオグラムセッションが表示されます。ユーザー一覧から、最新のフィッティングセッションとそれ以前のフィッティングセッションを開くことができます。また、最新のオージオグラムセッションを開いたり、過去のオージオグラムセッションを表示したりできます。

スタンドアローンデータベースを開く

設定により、スタンドアローンデータベースの開き方は異なります。

Noah がない場合の C-tune II

Noah がインストールされていない場合、スタンドアローンとして C-tune II を開くと、スタンドアローンデータベースに直接移動します。

1. デスクトップの C-tune II (スタンドアローン データベース) アイコンをダブルクリックするか、「スタート」メニューでアイコンをクリックします。C-tune II へのログイン画面が表示されます。
2. 「イニシャル」と「パスワード」を入力して、「ログイン」を選択します。スタンドアローンデータベースが開きます。
3. ユーザーを新規作成または選択し、C-tune II でフィッティングをします。C-tune II を開く前にユーザーを選択している必要があります。初めて使用する際、ユーザーの新規作成から始めます。

C-tune II と Noah 4

Noah 4 がインストールされている場合に、先に Noah を開かずに C-tune II を起動すると、自動的に Noah の中で動作します。

1. デスクトップの C-tune II アイコンをダブルクリックするか、「スタート」メニューで C-tune II アイコンをクリックします。Noah 4 へのログイン画面が表示されます。
2. ユーザー名とパスワードを入力し、「OK」ボタンを選択します。Noah 4 顧客ブラウザが開きます。顧客ブラウザは、Noah 4 内と同じように機能します。この画面内で顧客の新規作成、編集および削除が可能です。ブラウザには、Noah 4 ソフトウェアで定義した列が表示されています。
3. 顧客を選択します。顧客を選択すると、すぐにユーザーデータの記載されたデータベースが開きます。これで、既存のセッションを開いたり、ユーザーのセッションを新規作成したりできます。また、オージオグラムの作成や編集も可能です。
4. 「新しいセッション」または「セッションを開く」を選択して、データベースウィンドウを閉じ、C-tune II を開きます。

Noah 4 がインストールされており、Noah から C-tune II を起動すると、Noah で選択されたユーザーデータで C-tune II に直接移動します。Noah でユーザーを選択していない場合、C-tune II が開く前に Noah 4 顧客ブラウザが表示され、データを選択できます。

スタンドアローンデータベースウィンドウ

C-tune II 起動時に自動的にスタンドアローンデータベースウィンドウに移動して、ユーザー一覧が表示されます。ユーザーを選択し、C-tune II へ入ります。

ユーザーを選択すると、ユーザーに関する情報がブラウザのさまざまなフィールドに表示されます。たくさんのオプションもあります。

- **ユーザー**：作成したユーザーの一覧です。一覧はユーザーの姓に応じてソートされています。ユーザーをダブルクリックして、ユーザーのセッションを開きます。そのユーザーのフィッティングセッションがすでに存在する場合、最新のセッションが開きます。
- **ユーザーの選択**：Noah 4 ユーザーブラウザですでにユーザーを選択している場合、ユーザー一覧の代わりにこのボタンが表示されます。別のユーザーをユーザーブラウザから選ぶには、「ユーザーの選択」ボタンをクリックします。
- **セッション**：ユーザー一覧からユーザーを選択すると、そのユーザーのすべてのフィッティングセッションとオーディオグラムが表示されます。フィッティングセッションにマウスポインタを合わせると、コメントが表示されます。フィッティングセッションをダブルクリックすると開きます。過去のオーディオグラムを表示する場合は、セッションを選択して「表示」ボタンをクリックします。
- **最新のオーディオグラム**：このフィールドには、最新のオーディオグラム情報が表示され、編集するには「オーディオグラムの編集」ボタンをクリックします。過去のオーディオグラムは編集できませんが、表示は可能です。オーディオグラムがない場合、「オーディオグラムの入力」ボタンをクリックすると、オーディオグラムウィンドウが開きます。
- **現在のデバイス**：このフィールドには、最新のフィッティングセッションで選択した補聴器と DEX 装置が表示されます。デバイスのタイプ名とシリアル番号を確認できます。
- **ユーザーコメント**：内容を問わず、ユーザーに関するメモとして使用する欄です。特定のセッションに関連するものではありません。スタンドアローンデータベースウィンドウもしくはユーザーの編集ウィンドウで入力可能です。

スタンドアローンデータベースウィンドウの上部では、ユーザーの検索や操作が可能です。



ユーザーの作成。ユーザーを新規作成します。ユーザーの作成に関する詳細は以下を参照してください。



ユーザーの編集。選択したユーザーに関する情報を編集します。



ユーザーの削除。選択したユーザーをデータベースから削除します。このアイコンをクリックすると、削除してよいかどうか確認画面が表示され、「はい」でデータベースから完全に削除します。

クイックガイド



検索。フィールドに氏名や生年月日を入力します。**Enter** を押すかアイコンをクリックして検索を開始します。アイコンが「X」に切り替わります。再検索やすべてのデータを表示するには「X」をクリックします。

ユーザーのソート。ドロップダウンリストからユーザー一覧のソート方法を選択します。氏名、昇順、降順でソートでき、最新のセッションがあるユーザーを一覧の最上部に表示できます。

スタンドアローンデータベースウィンドウでの作業が終了したら、次の作業に移ります。

- 「新しいセッション」をクリックして、選択したユーザーの新たなセッションを作成します。
- 「セッション」一覧から既存のセッションを選択し、「セッションを開く」をクリックしてセッションの作業を進めます。

- 「閉じる」をクリックしてブラウザと C-tune II を閉じます。Noah 4 は、選択したユーザーを保持しているため、閉じてから 5 分以内に再度 C-tune II を起動すると、同じユーザーが選択された状態で開始されますので注意してください。

ユーザーの編集

ユーザーの新規作成や編集時に開きます。スタンドアローンデータベースウィンドウで「ユーザーの作成」アイコンや「ユーザーの編集」アイコンを選択した際に開くダイアログボックスと同じです。このダイアログボックスでユーザーの基本情報を入力します。

クイックガイド

必要に応じて複数のフィールドに入力します。ただし、ユーザーの「氏名」と「フリガナ」は入力する必要があります。

「追加フィールド」アイコンでダイアログボックスを展開すると、ユーザーに関する情報がすべて表示されます。

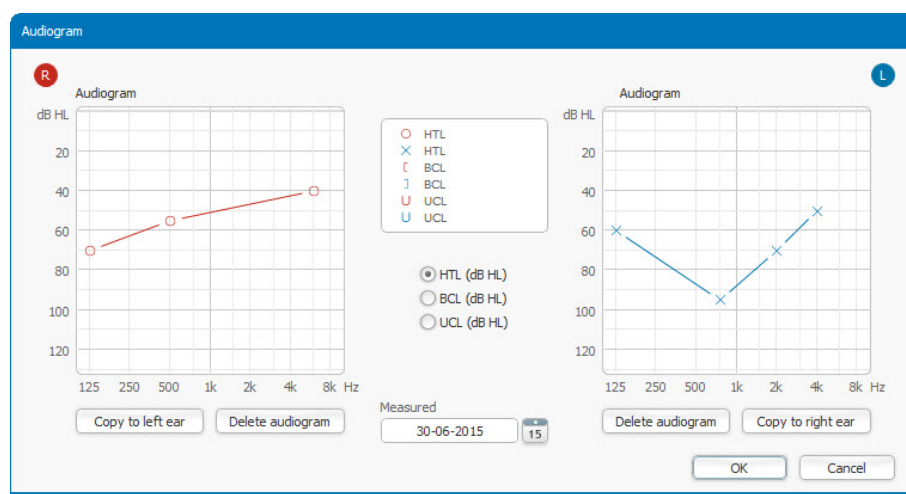
その他に、自由に記入できる「ユーザーコメント」フィールドがあり、ユーザーに関する重要な事項をメモしておくことができます。このフィールドに入力した文章は、ユーザー選択時にスタンドアローンデータベースウィンドウに表示されます。このように、ユーザーに関する重要な情報にいつでも簡単にアクセスできます。

ユーザーの編集画面内では、フィールドの移動はマウスもしくは **TAB** キーで可能です。

編集が完了したら、「OK」ボタンで情報を保存して、画面が閉じることができます。

オーディオグラム

「オーディオグラムの入力」もしくは最新のオーディオグラムを選択し、「オーディオグラムの編集」ボタンで画面を開きます。この操作で、空のオーディオグラムの編集画面もしくは選択したユーザーについて入力した最新のオーディオグラ



ムが開きます。過去のオーディオグラムを見るには、「セッション」一覧内で選択し、「表示」ボタンをクリックするか、セッション一覧で項目をダブルクリックします。

オーディオグラムのデータは、C-tune II による計算に使用されます。

ユーザーの聴しきい値レベルを入力するには、カーソルをオーディオグラムまで移動してクリックし、測定値のマーカーを挿入します。適正なマーカー位置が見つかるように、カーソルの横に周波数とレベルの数値が表示されます。

異なる種類の測定値を入力するには、該当するものを選択します。

- HTL (Hearing Threshold Level) 気導聴力レベル
- BCL (Bone Conduction Level) 骨導聴力レベル

■ UCL (UnComfortable Level) 不快閾値

同じ種類のマーカーは、自動的に線でつながれます。1000 Hz の位置など、マーカーを誤って配置した場合、マーカーの位置の変更は 1000 Hz 線上をクリックします。マーカーの削除は、マウスカーソルを合わせて右クリックで行います。

完了したら「OK」ボタンでオーディオグラムモジュールを閉じます。

データをすべて削除する場合は、ウィンドウの左下にある「オーディオグラムの削除」ボタンを使用します。このボタンをクリックすると、削除してよいかどうか確認画面が表示され、「はい」でデータベースから完全に削除します。

変更しないでオーディオグラムウィンドウを閉じるには、「キャンセル」ボタンをクリックします。

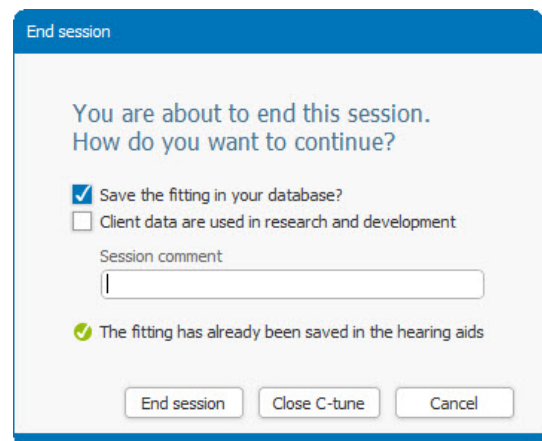
C-tune II を閉じる

フィッティングが終わったら、C-tune II ウィンドウ右上の「セッションの終了」をクリックしデータ保存後、セッションを閉じます。

表示されるダイアログボックスには、3 つの選択肢があります。

- 「セッションの終了」 セッションを保存後、スタンドアローンデータベース画面へ戻ります。
- 「C-tune を閉じる」 データ保存後、C-tune II ウィンドウと スタンドアローンデータベースの両方を閉じます。

「キャンセル」 C-tune II ウィンドウに戻ります。



この文書は、電子データで供給されています。印刷版をご希望の場合は、<http://widex.pro/gps-startup-guide> で無償で入手できます。配送には 7 営業日ほどかかります。また、文書は <http://widex.pro/gps-startup-guide> からダウンロードできます。

Copyright © Coselgi.無断複写・転載を禁じます。

文書バージョン：3.0.発行日：2020 年 5 月



C-tune II

コンソールプログラム

COMPASS GPS コンソール

COMPASS GPS コンソールプログラムでは、ユーザーの作成・編集、ユーザーデータベース管理と HIPAA（米国個人情報保護規制）ログの閲覧が可能です。

「スタート」メニューからコンソールプログラムを開きます。リンクは、「Widex/COMPASS GPS」のサポートフォルダにあります。

管理ユーザーとして登録され、ツールを使用するにはログインする必要があります。ログインイニシャルとパスワードを入力してください。コンソールに初めてログインする際には、イニシャル「ADM」、パスワード「GPS」を使ってください。

コンソールプログラムが開くと、3つの項目にアクセスできます。ウィンドウ左側の項目から選択します。

- 「ユーザー管理」 システムのユーザー登録・編集が可能です。
- 「データベース管理」 データベースの操作が可能です。
- 「HIPAA ログ」 ユーザーアクティビティを追跡し、HIPAA 規制に関する記録を参照できます。

ユーザー管理

この表示でユーザーの作成、編集、削除を行います。最初にアクセスした際には、初期設定の管理ユーザーのみが登録されています。

一覧には、C-tune II 用に指定されたすべてのユーザーのイニシャルとユーザーレベルが表示されます。



クイックガイド

ユーザーの作成

1. ウィンドウ下部の「新規」ボタンを選択し、「新規ユーザーの作成」ダイアログボックスを開きます。
2. 新規ユーザーのイニシャルを入力します。これは、C-tune II にログインする際に入力する必要があるユーザー名です。「イニシャル」フィールドには 3 文字入力できます。
3. 「氏名」を入力します。
4. 「パスワード」を入力します。「パスワード」フィールドの上には、パスワードの強さが表示されます。アルファベットの大文字と小文字および数字を組み合わせると強いパスワードとなります。
5. 「パスワードの確認」フィールドに、再度同じパスワードを入力します。最初と同じパスワードを正確に入力する必要があります。
6. 「ユーザーレベル」を選択します。「管理者」（C-tune II と COMPASS GPS コンソールのすべての機能にアクセス可）または「標準ユーザー」（C-tune II へアクセス可）のどちらかのレベルを選択します。
7. 新規ユーザーを登録したら「OK」で閉じます。これで、ユーザーが一覧に表示されます。

ユーザーの編集

1. 編集するユーザーを選択します。
2. ウィンドウ下部の「編集」ボタンを選択します。「ユーザーの編集」ダイアログボックスが表示されます。
3. 必要な項目を編集します。
4. 完了したら「OK」を選択します。

ユーザーの削除

1. 削除するユーザーを選択します。
2. ウィンドウ下部の「削除」ボタンを選択します。ユーザーを削除してもよいかどうか確認するダイアログボックスが表示されます。
3. 続けるには「OK」を選択します。一覧からユーザーが削除されます。

データベース管理

この表示でデータベース管理操作を行います。

サービス

このセクションには複数のオプションがあります。必要なボタンを選択してください。

クイックガイド

- **データベースのインポート**：インポートすることでデータベースを結合させることが可能です。ダイアログボックスが開き、インポートするデータベースを参照します。データベースを選択して「開く」をクリックします。
- **顧客データのエクスポート**：特定の顧客、または顧客データベース全体をエクスポートすることができます。このユーティリティを選択すると、ダイアログボックスが開き、1人の顧客またはすべての顧客をエクスポートするか選択できます。また、エクスポートにフィッティングセッションを含めるかどうか選択することもできます。「エクスポート」を選択すると、「名前を付けて保存」ダイアログボックスが開きます。エクスポートの名前と場所を選択し、「保存」をクリックします。エクスポートファイルは Noah 4 形式なので、別の Noah または Noah 互換システムにインポートできます。
- **データベースのバックアップ**：データベースのコピーを作成し、C:¥ ドライブ（デフォルトの場所：C:\ProgramData\Widex\CompassGPS\Backup）に保存します。例えば、週に 1 回というように定期的にバックアップすることを推奨します。
- **データベースの復元**：現在のデータベースを過去にバックアップしたものと置き換えます。ダイアログボックスが開き、希望するバックアップを参照します。バックアップを選択したら、「開く」でデータベースを置き換えます。
- **新規データベース**：エラーが原因でデータベースの置き換えが必要な際に、バックアップファイルがない場合、新しい空のデータベースと置き換えることができます。既存のデータベースを削除する場合にも使用できます。
- **データベースの圧縮**：データベースファイルを整理して、空き容量を確保します。削除したユーザーが多い場合に有効です。
- **バックアップの場所**：バックアップファイルの保存先を指定します。ユーザーの容量ではないシステムの場所を選択します。「…」ボタンをクリックしてバックアップフォルダを参照し、「保存」を選択して場所を保存します。

HIPAA ログ

HIPAA（Health Insurance Portability and Accountability Act.）は、コンピューター上における個人情報保護に関する規制です。この要件には、ユニークな ID とパスワードの作成、ユーザーアクティビティの記録などが含まれます。

HIPAA ログを使用すれば、ユーザーの基本情報に対する変更などのユーザーアクティビティや、オーディオグラムやフィッティングなどのデータベース基準の操作を追跡できます。

HIPAA ログ表示を開くと、アクティビティの一覧を確認できます。一覧では、さまざまなフィルターを使用できます。

- **日付、時刻**：選択した特定の日付や時刻に関連する項目だけを表示します。

クイックガイド

- **アクティビティ**：項目を表示するアクティビティを選択します。一覧がすぐに更新され、選択したアクティビティタイプだけが表示されます。

HIPAA ログを停止したい場合、「**HIPAA ログを有効にする**」のチェックを外します。

「エクスポート」を選択して、HIPAA ログをエクスポートすることもできます。エクスポートしたファイルは、任意のテキストエディターで開くことができます。

この文書は、電子データで供給されています。印刷版をご希望の場合は、<http://widex.pro/gps-startup-guide> で無償で入手できます。配送には 7 営業日ほどかかります。また、文書は <http://widex.pro/gps-startup-guide> からダウンロードできます。

Copyright © Coselgi. 無断複写・転載を禁じます。

文書バージョン：4.0.発行日：2025 年 1 月



C-tune II

CROS/BICROS

はじめに

このクイックガイドでは、CROS/BiCROS の機能について説明します。「補聴器の構成」ウィンドウ左のナビゲーションバーより「CROS/BiCROS」を選択します。

CROS 設定では、C-tune によりオーディオグラムに基づいた補聴器のフィッティングが自動的に生成されます。

BiCROS 設定では、受信する補聴器の片耳フィッティングをする必要があります。装用測定、装用聴力検査、およびフィードバックテストを実行し、必要に応じて微調整します。

CROS/BiCROS ウィンドウ

このウィンドウでは、CROS または BiCROS マッチング状況の確認や、新しいマッチングの開始をすることができます。マッチングの際に、CROS 設定または BiCROS 設定のどちらかを選択します。

マッチング手順

マッチング手順は DEX マッチングの場合と同様です。両耳フィッティングを選択していると CROS または BiCROS マッチングはできませんので、ご注意ください。下記の手順にしたがって、CROS または BiCROS 設定で補聴器と CROS をマッチングしてください。

1. 「マッチングの開始」ボタンを押します。開始ボタンの横にマッチング状況や関連する情報が表示されています。



2. 表示されているダイアログボックスの「タイプを選択」で「CROS」または「BiCROS」を選択します。さまざまなタイプの詳細が画面に表示されます。
3. 右側でマイクモードを選択します。「指向性」と「無指向性」から選択できます。オプションの詳細が画面に表示されます。
4. 「自動送信」の「オン」または「オフ」を選択します。「オン」の場合、送信機の電池ホルダーを閉じて電源を入れると自動的にストリーミングが開始されます。
5. 「次へ」ボタンを押し、マッチングを開始します。補聴器と送信機がプログラミングインターフェースの通信範囲内にあることを確認してください。マッチングが始まります。
6. マッチングが完了したら「OK」ボタンを押します。

CROS/BiCROS 設定での音のデモンストレーション

受信する補聴器と送信機とのマッチングが完了したら CROS/BiCROS 設定で音のデモンストレーションを実行することを推奨します。設定が正しく作動し、ユーザーにとって最適な音になっているかどうかを確認します。

1. ユーザーの耳に受信する補聴器と送信機が正しく装用されていることを確認します。
2. CROS/BiCROS ウィンドウで「デモンストレーションモード開始」ボタンを押すと、ダイアログボックスが開き、音の評価方法に関するヒントが表示されます。
3. プログラムボタンを押して、送信機を起動します。送信機が起動すると、受信する補聴器が音を出します。
4. 最適な音になっているかどうかをユーザーに確認します。必要に応じて、「送信音のオフセット」（CROS 設定）や「マイクバランス」（BiCROS 設定）を調整します。ここでは CROS または BiCROS 設定に関連した音の調整しかできません。受信する補聴器の音について詳細な調整が必要な場合は、「微調整」画面で行ってください。
5. プログラムボタンを再度押し、送信機を終了します。
6. 「デモンストレーションモード停止」ボタンを押し、CROS/BiCROS ウィンドウに戻ります。送信機の送信が有効なのは、デモンストレーションモード中のみです。

必要に応じて、「送信音のオフセット」（CROS 設定）や「マイクバランス」（BiCROS 設定）、つまり送信機と受信するの音のバランスを調整します。音について詳細な調整が必要な場合は、補聴器で利用できる微調整オプションを使用してください。

クイックガイド

再調整する場合は、上記の手順を再度実行して、音が改善されたことを確認してください。

この文書は、電子データで供給されています。印刷版をご希望の場合は、<http://widex.pro/gps-startup-guide> で無償で入手できます。配送には 7 営業日ほどかかります。また、文書は <http://widex.pro/gps-startup-guide> からダウンロードできます。

Copyright © Coselgi.無断複写・転載を禁じます。

文書バージョン：3.0.発行日：2020 年 5 月



C-tune II

データロギング

はじめに

このクイックガイドでは、データロギングの基本について説明します。「データロギング」画面には「データロギング」ウィンドウがあります。この機能は選択した補聴器によって大きく違うため、このクイックガイドはそれぞれのデータロギングデータの表示方法に応じて2つのセクションに分けられています。

Dinamico のデータロギング

Coselgi Dinamico 補聴器のデータロギングでは、一度に補聴器1つ分のデータを表示します。両耳フィッティングでは、ウィンドウ右上の R/L ボタンで補聴器の左右を切り替えます。

使用状況

「使用状況」タブは、左のナビゲーションバーの隣にあり、作業エリアの一番左上にあります。

補聴器の使用状況の詳細を確認できます。円グラフはプログラムごとの使用時間割合を示しており、「データロギング有効化」から C-tune が対象の情報を記録するかどうかを決めます。

ボリューム設定使用

「音量コントロールの使用状況」タブは「使用状況」タブの隣にあります。

ロギング期間中に補聴器で各プログラムに対して行った音量調整を確認できます。「最近のプログラム」では、直近の補聴器使用時の音量変化を確認できます。

クイックガイド

補聴器の各プログラムについて、音量コントロールが音量レベルの上下にどの程度使用されたかを確認できます。濃い色は使用頻度の高かった設定を、薄い色は使用頻度の低い音量コントロール設定を示しています。

環境分類

「環境分類」タブは、「音量コントロールの使用状況」タブの隣にあります。

このタブには、それぞれのプログラムを使用する音環境分類を示しています。環境は分類されて、関連するプログラムでの合計使用状況に対する割合で表示されます。

補聴器で定義した各プログラムに関する列の他に、補聴器が使用された音環境分類を総合的に示した列もあります。

Unia/Effect/Mojo のデータロギング

Coselgi Unia、Effect、Mojo のデータロギングでは、両耳フィッティングの場合、両耳のデータが同時に表示されます。表示方法は 4 種類あり、画面内のタブを切り替えて、データロギング対象の記録期間を確認できます。

記録概要

データロギング画面の最初に表示されるのが「記録概要」です。記録期間中の補聴器の使用について一般的な情報が示されます。このタブには次のものが表示されます。

- 記録期間
- ユーザーによる補聴器の 1 日あたりの平均使用時間および前回記録時の 1 日あたりの平均使用時間
- プログラムボタンと音量コントロールの使用量、1 日あたりの補聴器電源操作回数
- 会話のある環境とない環境での補聴器の使用時間

タブの下部では、フィッティングセッションや微調整セッションを終了したときにデータロギングを有効にするかを選択できます。

プログラム使用状況

補聴器のプログラム数およびそれぞれの使用量を確認できます。各プログラムについて、左右両方の補聴器での合計使用時間に対する割合を示しています。グラフ表示の下には、補聴器の全プログラムも一覧表示されています。補聴器に音量コントロールがある場合、いずれかのプログラムを選択して、そのプログラムでの音量コントロールの使用量を表示できます。

クイックガイド

環境分類

補聴器が使用された音環境の記録が示されます。複数のプログラムが設定されている場合、ウィンドウ左のタブでプログラムを切り替えられます。各プログラム（マイク入力のみ）について、どの音環境が有効にされたか確認できます。いずれかの環境にマウスカーソルを合わせると、その環境が有効になった時間的な割合が表示されます。

環境グラフの下では、さまざまな環境での音量コントロールの使用時間を確認できます。このグラフ表示には、会話のある環境とない環境での音量コントロールの使用量も示しています。

補聴器で有効になった環境に基づいて、できるだけユーザーがプログラムボタンを使用しなくてもいいように、補聴器を調整したほうがいい場合があります。「環境」タブの下部では、テキストをクリックして直接「音状況」ウィンドウに移動できます。

入力音レベル

記録期間中の補聴器への入力音レベルの分布を示します。小さな音、通常の大きさの音、大きな音に対する時間的な割合を％で表示します。

画面下部に音量コントロールの使用状況が示されます。ユーザーが音量コントロールを上下に調節している場合、ここに示されます。できるだけユーザーが音量コントロールを使用しなくてもいいように、補聴器を調整したほうがいい場合があります。

詳細設定ログ



ユーザーがアプリで作成したパーソナルプログラムの詳細を表示します。設定を表示する前に、アプリでユーザーから同意を得る必要があります。さらに、C-tune の「詳細設定ログ」で「データロギング」にデータを表示する前に、クラウドベースサービスにログインして、ユーザーの補聴器に接続する必要があります。

「詳細設定ログ」ウィンドウの表示には、アプリで行った設定が反映されます。情報はユーザーと相談して、さらに微調整する目的に使用します。

パーソナルプログラムは補聴器に保存されず、ユーザーのアプリからのみアクセスできます。「詳細設定ログ」では、現在のパーソナルプログラムの設定や使用状況を表示できます。

クイックガイド

新しいユーザーをフィッティングする場合は、必ずログインする必要があります。そうしないと、詳細設定ログデータの記録が開始しません。アプリからのデータは、ユーザーの補聴器がアプリに接続されるたびにクラウドに送信されます。

「詳細設定ログ」ウィンドウには、次の情報が表示されます。

プログラムの概要

ユーザーが作成したパーソナルプログラムがすべて表示されます。プログラムで選択した名前とアイコン、ベースのプログラム、1週間あたりのプログラムの平均起動回数、プログラム作成時間を確認できます。詳細を確認するにはプログラムをクリックしてください。

音量

音量設定のステップは、設定コントロールのステップを表します。ステップ数は「補聴器の構成」の「ユーザーコントロール」設定に基づいており、3ステップと9ステップから選択できます。3ステップを選択すると、全体の範囲は9 dBになります。9ステップを選択すると、全体の範囲は16 dBになります。

イコライザー

イコライザーは3つの周波数帯（低音、中音、高音）で上6ステップ、下6ステップで調節できます。中音と高音の処理範囲は-12 ~ +6 dBです。プラス方向の調整はステップあたり1 dBで、マイナス方向の調整はステップあたり2 dBとなります。低音の処理範囲は-12 ~ +12 dBです。この処理での調整はすべてステップあたり2 dBです。

サウンドミキサー

2つの入力信号があるパーソナルプログラム（MT、マイク付きのZen、マイク付きのZen+）の場合、ユーザーはサウンドミキサーで2つの信号のバランスを調整できます。

ユーザーが行った調整の効果は、フィッティングで使用する音響構成（レシーバーおよびイヤータップ/イヤーマールド/ベント）によって異なることにご注意ください。

この文書は、電子データで供給されています。印刷版をご希望の場合は、<http://widex.pro/gps-startup-guide> で無償で入手できます。配送には7営業日ほどかかります。また、文書は<http://widex.pro/gps-startup-guide> からダウンロードできます。

Copyright © Coselgi.無断複写・転載を禁じます。

文書バージョン：4.0。発行日：2020年11月



C-tune II

補聴器の検出

はじめに

このクイックガイドでは、C-tune II から接続できる補聴器を検出する方法について説明しています。フィッティングを行う前にすべての補聴器を検出して接続する必要があります。

補聴器の接続

下記手順で検出して接続します。

1. データベースからユーザーを選択し、C-tune を開きます。
2. 「セッションスタート」または「選択」ウィンドウで、メインワークスペースの上にあるドロップダウンリストからプログラミングインターフェースを選択します。前回使用したインターフェースが最初に表示されています。リストには使用可能なインターフェースが表示されます。
3. ウィンドウ上部にある「接続」ボタンを押します。

C-tune が通信範囲内にある補聴器を検出してダイアログボックスに表示します。Noahlink Wireless を使用する場合、新しい補聴器を検出すると、補聴器の検出一覧が自動的に更新されます。Noahlink Wireless は、電源を入れてから 3 分以内に補聴器を検出します。

4. ワイヤレスプログラミングインターフェース付近で 2 つ（以上）の補聴器の電源がオンになっている場合、どちらの補聴器が左右なのかの判別が難しい場合があります。補聴器を特定するには、「補聴器の特定」ヘッダーの「再生」ボタンを使用します。「再生」ボタンを押すと、対応する補聴器で音が流れ、どこにあるか知らせます。

Noahlink Wireless を使用する場合、ボタンを短く押すと、一覧の中の補聴器が数秒間ハイライトされ、補聴器を特定することもできます。補聴器は信号強度順に表示されるため、一覧の一番上の補聴器が Noahlink Wireless に最も近いことになります。

5. 「右を選択」列および「左を選択」列のラジオボタンで、左右それぞれに使用する補聴器を定義します。
6. 補聴器を選択したら、「次へ」を押して進みます。「接続ステータス」ダイアログボックスが表示されます。ここで補聴器を確認できます。ダイアログボックスには、補聴器のモデル、シリアル番号や音響構成が表示されます。
7. ドロップダウンリストでイヤークセアを選択または変更します。ユーザーの実際のイヤークセアに合った設定を選ぶことが重要です。フィッティングデータに誤りがあると、補聴器を最大限に活かすことができません。
8. 「次へ」ボタンを押します。補聴器が接続されます。「接続」ボタンの表示が「切断」ボタンに変わります。

この文書は、電子データで供給されています。印刷版をご希望の場合は、<http://widex.pro/gps-startup-guide> で無償で入手できます。配送には 7 営業日ほどかかります。また、文書は <http://widex.pro/gps-startup-guide> からダウンロードできます。

Copyright © Coselgi.無断複写・転載を禁じます。

文書バージョン：4.0。発行日：2020 年 11 月



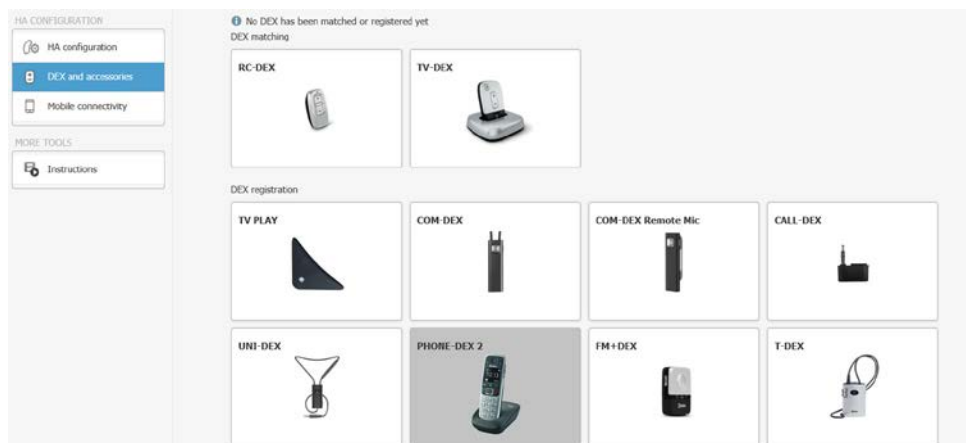
C-tune II

DEX とアクセサリ

はじめに

DEX とアクセサリやマッチング、登録についてのクイックガイドです。マッチングの際には、補聴器を接続している必要があります。

「補聴器の構成」画面の左側にあるナビゲーションバーから「DEX とアクセサリ」



を選択します。「DEX とアクセサリ」ウィンドウでは、すでにマッチングまたは登録された DEX が表示されており、新しい DEX のマッチングを開始できます。

特定の DEX タイプのマッチング手順についてわからない場合は、該当の DEX をクリックし、「マッチング」ダイアログボックスで DEX の「説明」アイコンをクリックします。

マッチング手順

手順はどの DEX でもほぼ同様です。下記手順に従ってください。

1. 補聴器が接続され、正しくフィッティングされていることを確認します。
2. 「DEX とアクセサリ」を選択します。

クイックガイド

3. マッチングしたい DEX タイプを選択します。「マッチング」ダイアログボックスが開きます。
4. 「マッチングの開始」ボタンを押します。マッチングウィンドウが開き、マッチング処理が開始します。
5. DEX をユーザーの近くで保持し、2 つの音量ボタンを同時に約 5 秒間押し続けます。

C-tune が補聴器と DEX のマッチングを確認し、「マッチング完了」ウィンドウを表示します。DEX のタイプ、シリアル番号、マッチング状況が表示されます。

マッチングが成功しなかった場合、再試行の前に確認する内容がメッセージとして表示されます。

6. 「OK」ボタンでマッチング情報を保存し、「DEX とアクセサリ」ウィンドウに戻ります。チェックマークがついているものはマッチングされていることを示します。

マッチングの削除

既存のマッチングは削除できます。希望の DEX タイプを選び、「マッチングの削除」ボタンを押します。ダイアログボックスが開き、本当に削除するか確認されます。「はい」を押すと削除され、「DEX とアクセサリ」ウィンドウに戻ります。

DEX の登録

DEX とアクセサリのタイプによっては、マッチングを必要としないものがありますが、これらについても DEX タイプのシリアル番号を C-tune のフィッティングデータと補聴器に、保存しておくことを推奨します。

DEX やアクセサリを登録するには下記手順に従ってください。

1. 「DEX とアクセサリ」ウィンドウで、登録したいタイプを選択します。「登録」ダイアログボックスが開きます。
2. デバイスのシリアル番号を記入し、「登録」を選択します。シリアル番号はフィッティングデータおよび補聴器に保存されます。

登録を削除する場合は、「登録」ダイアログボックスを開き、「登録を削除」ボタンを押します。

この文書は、電子データで供給されています。印刷版をご希望の場合は、<http://widex.pro/gps-startup-guide> で無償で入手できます。配送には 7 営業日ほどかかります。また、文書は <http://widex.pro/gps-startup-guide> からダウンロードできます。

Copyright © Coselgi.無断複写・転載を禁じます。

文書バージョン：5.0。発行日：2022 年 05 月

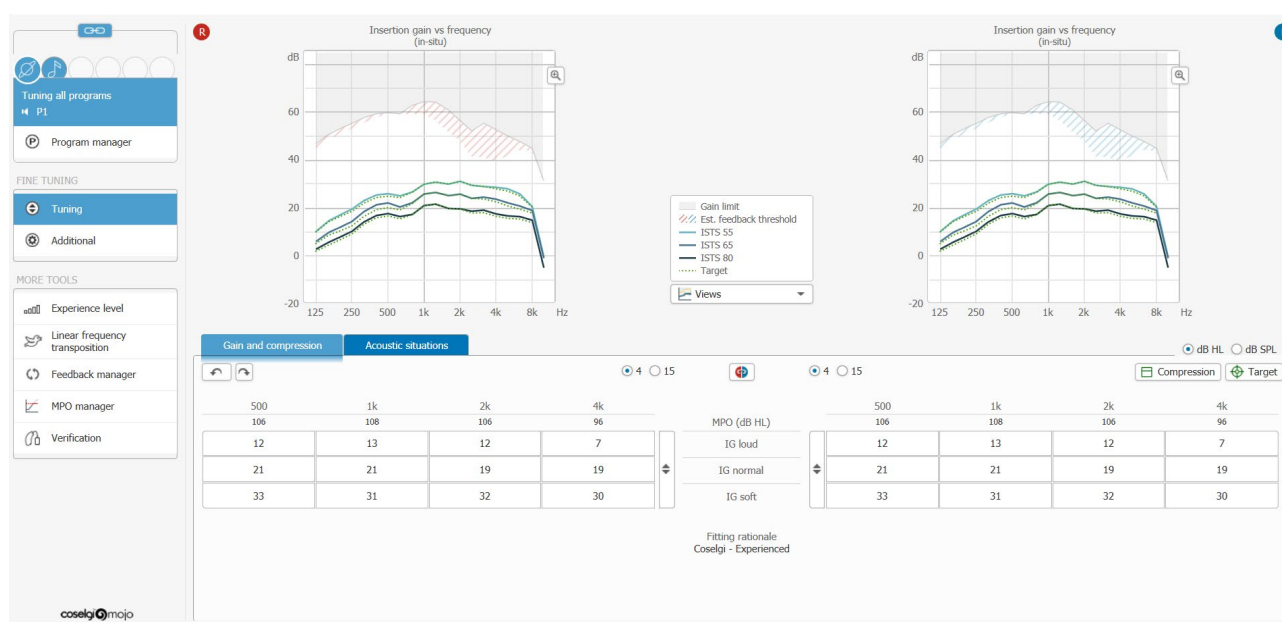


C-tune II

微調整

はじめに

このクイックガイドでは、C-tune II の「微調整」画面について説明します。この画面では、プログラムスターター、およびシステムに基本的な変更を加える主な微調整ツールにアクセスできます。「その他のツール」には、さらに役立つツールセットがあります。



クイックガイド

プログラムスターター

画面左にあるナビゲーションバーの上部にあり、表示可能なプログラム数は 5 つまでで、スマートトグルプログラムも 1 つあります。補聴器に複数のプログラムがある場合は、すべてのプログラム名が表示されるわけではなく、有効なプログラムだけが表示されます。他のプログラムはプログラムアイコンで表示され、アイコンにマウスカーソルを合わせると、プログラム名が表示されます。

「微調整」画面に表示される機能は、補聴器シリーズで異なることにご注意ください。以下で、Dinamico シリーズと Unia/Effect/Mojo シリーズの微調整ツールについて説明します。

Unia/Effect/Mojo シリーズの主なツール

- □ **プログラムマネージャー**：設定できるプログラムの数は、モデルおよび補聴器とともに DEX を使用するかどうかで異なります。工場出荷時の補聴器には、ほぼユニバーサルプログラムが設定されています。ただし、一部の補聴器タイプ（Bluetooth 接続搭載の補聴器など）には、自動的に定義されたプログラムが複数設定されています。プログラムマネージャーを使えば、他のプログラムを定義できます。

「追加プログラム」では、例えばミュージックのように特定の環境に特化したプログラムを追加できます。「特別なプログラム」では、電話、テレコイル、リラクゼーション用の Zen Mojo ゼン／リラックス用）プログラムを追加できます。

スマートトグルプログラムも追加できます。3 つの異なるゼンあるいはリラックススタイルから選択してお客様に設定できるようにする場合は、「ゼン+」（Mojo ゼン+／リラックス+用）を選択します。お客様が電話プログラムに簡単にアクセスする場合は、「電話+」を選択します。

- **調整**：「利得と圧縮率」タブでは、補聴器の挿入利得レベルや圧縮率を調整できます。「調整」ウィンドウで最初に表示されるグラフは「挿入利得と周波数」ですが、他の表示も選択できます。2 種類のグラフ表示オプションを使用して表示を変更します。

補聴器や選択されたプログラムによっては、「利得と圧縮率」以外のタブが表示され、様々な設定が可能です。例えば、ユニバーサルプログラムでは「音状況」設定、Zen+ プログラムでは Zen+（MOMENT ゼン+／リラックス+用）スタイルの選択およびオプションを使用できます。

- **追加**：スピーチとノイズモード、風切り音のコントロール、フィードバックキャンセルモードなど、各機能の設定を行います。各機能ごとの現在の設定が表示され、アイコンをクリックすると設定を変更するダイアログボックスが開き、機能の説明を参照することができます。

Dinamico シリーズの主なツール

- **プログラム設定**：最初に表示されるグラフは「出力と周波数」ですが、他のグラフ表示も選択できます。2種類のグラフ表示オプションを使用して表示を変更します。

補聴器の設定は、グラフの下にあるタブを使用して調整します。「**利得設定**」タブでは、各周波数域や入力音レベルの増幅を調整でき、「**圧縮率**」タブでは、**CT1**（圧縮しきい値）を調整して、**CT2**、**CR1**、**CR2**（圧縮率）を表示できます。「**追加**」タブでは、補聴器の特別な一部機能の設定を定義できます。

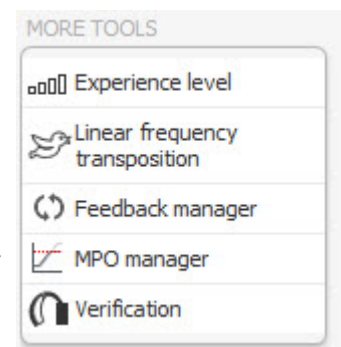
- **プログラムマネージャー**：設定できるプログラムの数は、モデルおよび補聴器とともに **DEX** を使用するかどうかが異なります。工場出荷時の補聴器には、マスタープログラムのみが設定されています。プログラムマネージャーを使えば、他のプログラムを定義できます。

両耳フィッティングの両方の補聴器に同じプログラムを追加するには、「**通常プログラム**」を使用します。2つの補聴器に別々のプログラムが必要な場合は、「**複合プログラム**」を選択してプログラムの組み合わせ一覧から選択します。

その他のツール

「その他のツール」には、次のような役立つツールがあります。

- **体験レベル**。ユーザーが補聴器に慣れていない場合、一時的に体験レベルを **4** 未満に設定できます。これで全般的に利得が下がります。慣れてきたら、レベル **4** に戻します。自動体験レベルも使用でき、レベルが自動的に変化します。体験レベルは、補聴器に定義されたすべてのプログラムに有効です。グラフ表示では、ターゲット曲線を含めて、挿入利得と周波数（Dinamico の場合は出力と周波数）を比較したグラフを示します。
- **線形周波数変換**。Dinamico シリーズの線形周波数変換を開くと、マスタープログラムに自動的に移動します。Unia/Effect/Mojo シリーズでは、以前に選択したプログラムが有効な状態になります。グラフ表示には、線形周波数変換の効果が示されます。「線形周波数変換」ウィンドウは、「選択したプログラム」タブで開きます。ここで、機能を有効にするプログラムを選択できます。補聴器のすべてのプログラムや個別のプログラムに対して、機能をオンにできます。設定を定義するには、機能の開始周波数と、線形周波数変換が必要な周波数範囲を選択します。一部の補聴器では、線形周波数変換の大きさを定義して、線形周波数変換の体験レベルをオンにすることもできます。
- **フィードバックマネージャー**。フィードバックテストの結果が良好にもかかわらず、特に静かな環境ではフィードバックが残っており、ユーザーがハウリングを訴える場合があります。新しいイヤーマールドの作成やバントの削減でも問題を解決できない場合に、フィードバックマネージャーで調整すれば問題を解決できる場合があります。



クイックガイド

- **MPO マネージャー。**このウィンドウでは、参照情報として MPO 目標値と、Dinamico シリーズでは MPO 参照値が表示されます。最大出力レベルを定義できます。この機能に対する調整は、補聴器のすべてのプログラムに影響することにご注意ください。
- **検証測定。**この機能には、外部の補聴器分析システムでの検証測定用に補聴器を設定できるツールが含まれています。「標準アダプティブテストモード」と「非アダプティブテストモード」から選択できます。

この文書は、電子データで供給されています。印刷版をご希望の場合は、<http://widex.pro/gps-startup-guide> で無償で入手できます。配送には 7 営業日ほどかかります。また、文書は <http://widex.pro/gps-startup-guide> からダウンロードできます。

Copyright © Coselgi.無断複写・転載を禁じます。

文書バージョン : 6.0。発行日 : 2023 □ 08 □



C-tune II

ファームウェアアップデート

はじめに

このガイドでは、C-tune II
の「セッションスタート」画面にある「ファームウェアアップデート」機能について説明します。

ファームウェアアップデート機能



可能な限り、デバイス間の通信を円滑にするには、デバイスのファームウェアを最新にする必要があります。「セッションスタート」画面から「ファームウェアアップデート」ウィンドウを開き、選択したデバイスのステータス概要を確認します。

「ファームウェアアップデート」ウィンドウで、次のデバイスのステータスを確認できます。

- BT 機能付き補聴器（モバイルデバイスと通信する補聴器の場合）
- PRO LINK

最新ファームウェアをインストールする必要がある旨がステータスボタンで示されている場合、クリックしてアップデートを開始できます。

補聴器のファームウェアアップデート

モバイルデバイスと通信できる補聴器の場合、可能な限り円滑に通信できるように、補聴器のファームウェアを最新の状態にしておくことが重要です。

補聴器のファームウェアは、ユーザーがモバイルデバイスでアップデートできますが、「補聴器のファームウェアアップデート」機能からでも実行できます。C-tune



クイックガイド

にある補聴器のファームウェアを最新の状態にするには、**C-tune** ソフトウェアを最新の状態にしておく必要があります。

「ファームウェアアップデート」ウィンドウを開いて補聴器に接続すると、補聴器ボタンが表示されます。補聴器のファームウェアのバージョンに応じて、表示されるステータスが異なります。

- 「**新しいアップデートが必要です**」。補聴器のファームウェアをアップデートして、**Bluetooth** 機能が動作していることを確認する必要があります。
- 「**新しいアップデートを推奨します**」。補聴器のファームウェアのアップデートを推奨します。
- 「**ファームウェアは最新です。再インストール可能です**」。補聴器のファームウェアが **C-tune** のファームウェアと一致しており、ファームウェアを再インストールできます。
- 「**ファームウェアは最新です。補聴器のファームウェアが C-tune** のファームウェアより新しくなっています。新しいバージョンの **C-tune** が利用可能か確認してインストールすることを推奨します。

補聴器ボタンをクリックすると、「補聴器のアップデート」ダイアログボックスにインストール中の補聴器のファームウェアバージョンと進行状況が表示されます。アップデートが正常に完了したかどうか通知され、「ファームウェアアップデート」タブに戻ります。

アップデートが完了しなかった場合、問題の情報と操作の進め方が表示されます。

PRO LINK のファームウェアアップデート

「ファームウェアアップデート」ウィンドウを開いて **PRO LINK** をフィッティングデバイスに選択すると、**PRO LINK** ボタンが表示されます。**PRO LINK** のファームウェアのバージョンに応じて、表示されるステータスが異なります。

- 「**アップデートの確認**」。**PRO LINK** ボタンをクリックして利用可能なアップデートを確認する必要があります。
- 「**新しいアップデートが必要です**」。**PRO LINK** のファームウェアをアップデートして使用できるようにする必要があります。
- 「**新しいアップデート利用可能**」。**PRO LINK** のファームウェアのアップデートを推奨します。
- 「**ファームウェアは最新です。PRO LINK のファームウェアが C-tune** のファームウェアと一致しています。

PRO LINK ボタンをクリックすると、「**PRO LINK** のアップデート」ダイアログボックスに進行状況が表示されます。アップデートが正常に完了したかどうか通知され、「ファームウェアアップデート」タブに戻ります。

アップデートが完了しなかった場合、問題の情報と操作の進め方が表示されます。

クイックガイド

この文書は、電子データで供給されています。印刷版をご希望の場合は、<http://widex.pro/gps-startup-guide> で無償で入手できます。配送には7営業日ほどかかります。また、文書は <http://widex.pro/gps-startup-guide> からダウンロードできます。

Copyright © Coselgi.無断複写・転載を禁じます。

文書バージョン : 1.0。発行日 : 2020 年 11 月



C-tune II

フィッティング

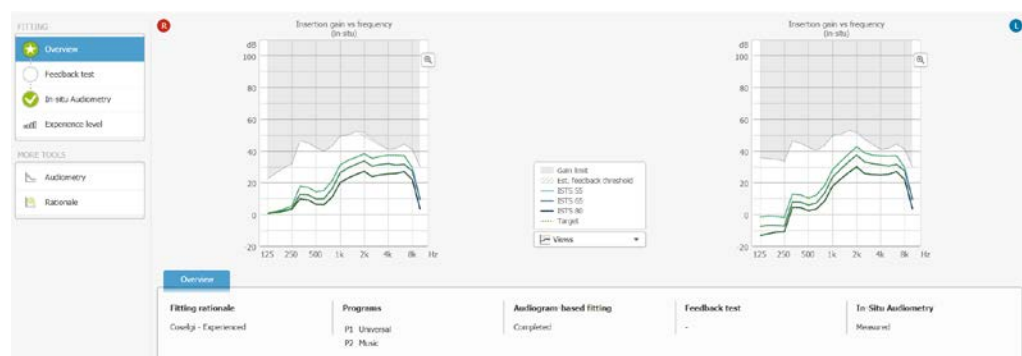
はじめに

このクイックガイドでは、「フィッティング」（初期設定）画面について説明します。

「フィッティング」画面では、左側のナビゲーションバーからフィードバックテスト、装用聴力検査、体験レベル、聴力測定のツール、理論、フィッティングウィザードを選択できます。

フィッティング概要

「フィッティング概要」ウィンドウは「フィッティング」画面で最初に表示され、フィッティングステータスの概要を表示します。ここでは、オーディオグラムに基づいたフィッティングだけで十分ですが、C-tune



ではフィードバックテストや装用聴力検査などの装用測定でより正確にフィッティングすることを推奨しています。

このウィンドウで様々なグラフ表示や、選択した表示の個別設定を選択できます。グラフ表示の間にある「表示」ドロップダウンリストを選択します。複数の機能がある一覧が開き、性能、出力、利得のリアルタイム表示やスペクトル表示、サウンドトラッカー設定を選択できます。

ウィンドウ中央の「フィッティングステータス」では、フィッティングに関する基本的な情報を確認できます。このセクションのレイアウトは、

選択した補聴器によって異なりますが、一般的にオーディオグラムに基づいたフィッティングのステータスを把握でき、フィードバックテストや装用聴力検査を実施したかどうかを確認できます。

フィッティングウィザード

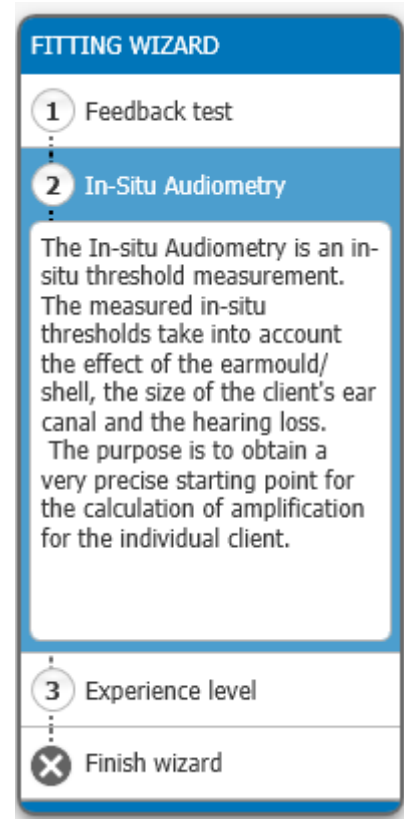
Mojo

を除いたすべての補聴器シリーズでは、「フィッティング」画面の左側のナビゲーションバーからフィッティングウィザードを開くことができます。フィッティングウィザードでは、フィードバックテスト、装用聴力検査、体験レベルの設定を順に行っていくことができます。これはできるだけ個人差を考慮した正確なフィッティングをすることで補聴器の効果を最大限に発揮してもらいたい、という Coselgi

の考えに基づくものです。ウィザード中のすべての測定・設定を必ずしもしなければならぬわけではなく、途中でウィザードを終了することもできます。

フィッティングウィザードは、1

番目のフィードバックテストから始まります。フィッティングウィザードを開くと、左側のナビゲーションバーが切り替わり、ウィザードの手順になります。終了して「ウィザードの終了」を選ぶと、すべての調整内容が保存され、「フィッティング概要」ウィンドウに戻ります。測定・設定したデータは更新されています。



この文書は、電子データで供給されています。印刷版をご希望の場合は、<http://widex.pro/gps-startup-guide>で無償で入手できます。配送には 7 営業日ほどかかります。また、文書は <http://widex.pro/gps-startup-guide>からもダウンロードできます。

Copyright © Coselgi.無断複写・転載を禁じます。

文書バージョン : 4.0。発行日 : 2020 年 11 月



C-tune II

補聴器の構成

はじめに

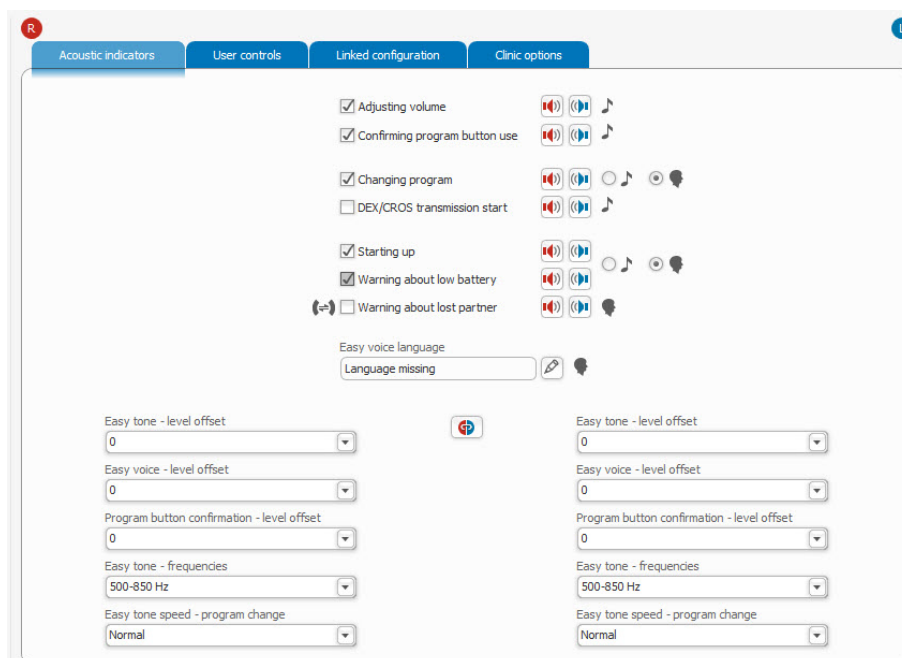
このクイックガイドでは、C-tune II の「補聴器の構成」画面について説明します。この画面から DEX、CROS/BiCROS、補聴器の構成にアクセスできます。DEX と CROS/BiCROS については、別のクイックガイドがあることにご注意ください。

補聴器の構成

「補聴器の構成」ウィンドウは、下記の 4 つのタブから構成されます。

- **お知らせ音** このタブでは、補聴器が使用する各お知らせ音を定義できます。一部のお知らせ音を無効にすることもできます。お知らせ音のオン/オフ設定はバイノーラルでのみで、デフォルトではオンになっていることにご注意ください（パートナー紛失を除く）。このタブでは、レベルオフセットなどの機能にもアクセス

できます補聴器によっては、これらの設定がオン/オフ設定のすぐ下にあるものや、ウィンドウの右上にある「設定」ボタンをクリックしてアクセスする別の機能としてあるものもあります。ドロップダ



ウンリストで、希望する機能設定を選択します。イーजीートーンとイージーボイスのレベルもオフセットできます。

- **ユーザーコントロール。** スタートアップモードやプログラムなど補聴器のユーザーコントロールや音量コントロールの設定を定義できます。
- **接続型構成。** 接続型機能をオンまたはオフにします。デフォルト設定は「オン」です。
- **クリニックオプション。** サービスアラーム機能やセーフティコード機能があります。これらの機能は補聴器の音の設定には関係ありません。サービスアラームは次回ユーザー訪問時をお知らせし、セーフティコードはわからない限り一定期間補聴器のフィッティングができなくなりますので注意してください。

モバイルデバイスとの接続

Bluetooth モバイルデバイスとペアリング可能な補聴器があります。Bluetooth デバイスとの接続がうまくいかない場合、補聴器内のペアリング情報を削除し、再度設定することで解決できる場合があります。以下の手順に従ってください。

1. 「モバイルデバイスとの接続」ウィンドウを開きます。
2. 「すべてのペアリングを削除」をクリック。ペアリングを削除するか確認する画面が開きます。
3. 「はい」をクリックします。補聴器内の Bluetooth ペアリング情報が削除されます。なお、COM-DEX や CALL-DEX を使用するための情報には影響ありません。
4. Bluetooth デバイス（スマホ、タブレットなど）において、補聴器へのペアリング情報を手動で削除します。
5. モバイルデバイスで再度補聴器との Bluetooth ペアリングを設定します。Bluetooth ペアリングの設定方法については、モバイルデバイスの取扱説明書を参照してください。

説明ツール

「その他のツール」では、「DEX 説明ツール」ウィンドウにアクセスできます。このウィンドウでは、DEX デバイスを表示してそれぞれのボタンやインジケータを定義できます。



クイックガイド

この文書は、電子データで供給されています。印刷版をご希望の場合は、<http://widex.pro/gps-startup-guide> で無償で入手できます。配送には 7 営業日ほどかかります。また、文書は <http://widex.pro/gps-startup-guide> からダウンロードできます。

Copyright © Coselgi.無断複写・転載を禁じます。

文書バージョン：5.0。発行日：2022 年 05 月



C-tune II

操作ガイド

はじめに

このガイドでは、C-tune II の操作方法をタイトルバー、画面上部ナビゲーションバー、ワークスペースバー、画面左ナビゲーションバーについて説明します。

タイトルバー

タイトルバーの左側にある Coselgi C-tune II ロゴは、Coselgi の C-tune II フィッティングソフトウェアを開いていることを示します。タイトルバーの中央では、選択したユーザーと生年月日（カッコ内に年齢）を確認できます。右側では、その他の Microsoft Windows プログラムなどのプログラムを最小化、最大化、終了できます。



画面上部ナビゲーションバー

画面上部ナビゲーションバーは、項目ごとに分かれており、操作している画面に関係なくアクセスできるのツールがあります。

操作に関する項目

これらの項目から、C-tune の主要なエリアにアクセスでき、項目を有効にすると、マークされます。C-tune が補聴器に接続されている、または選択されている場合、どの項目にもアクセスできます。



クイックガイド

ツール

ツールはクラウドベースサービス、SoundPlayer、保存、印刷、ヘルプ、セッション終了があります。これらのツールでフィッティングを保存したり、ドキュメントを印刷したり、ヘルプメニューにアクセスできます（複数のオプションがある場合）。最後には、画面上部ナビゲーションバーから **C-tune** を閉じることができ、データベースや補聴器にデータが保存されます。



クラウドベースサービス



クラウドサービスに基づいた **C-tune**

の機能にアクセスするには、ログインする必要があります。クラウドアイコンを選択するとドロップダウンメニューが開き、「情報」を選択してクラウドベースサービスの詳細を確認したり、「ログイン」でユーザーの作成やサインインのためのブラウザウィンドウを開いたりできます。ログインは選択したユーザーやセッションに関連しません。

必要な許可が付与されている場合にログインすると、「情報」を再度選択すれば「詳細設定ログ」にアクセスできます（この機能がユーザーの地域で利用できる場合）。ログイン許可に関する詳細は、最寄りの販売店までお問い合わせください。

クラウドアイコンをクリックすれば、クラウドベースサービスのログインやログアウトができます。クラウドアイコンは、常に現在のログインステータスを表示します。



ログインしていない場合



ログインしている場合

アプリケーションやコンピュータを再起動した場合でも、**C-tune** はログイン状態を保ちます。セキュリティ目的で、定期的にパスワードの再入力を求められる場合があります。

ワークスペースバー

画面上部ナビゲーションバーの下には、ワークスペースバーがあり、補聴器が接続または選択されているかどうかが表示されます。使用中のプログラミングインターフェースも表示されます。フィッティングの状況によっては、通知アイコンが表示され、マウスカーソルを合わせると、現在のフィッティングに関する問題が表示されます。



ワークスペースバーの右側には、ミュート機能（左右両方の補聴器）やリセット機能などのワークスペースツールがあり、ドロップダウンリストにある複数のリセット機能から選択できます。



クイックガイド

画面左ナビゲーションバー

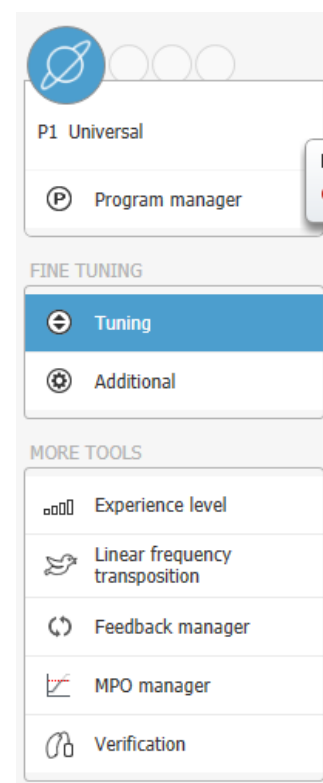
このバーには下記の項目があります。

- 最上部にはプログラムを切り替えるプログラムスターターがあります（「微調整」画面と「データロギング」画面）。
- 画面上部ナビゲーションバーで選択されている項目に応じて、画面左ナビゲーションバーに表示されるツールは変わります。例えば、「微調整」画面においては、画面左ナビゲーションバーの上部でプログラムスターターのすぐ下に、主なツールが表示されます。主なツールの下には、副次的なツール（その他のツール）が表示されています。
- 補聴器シリーズのロゴがあります。画面左ナビゲーションバーの下部には、選択した補聴器シリーズのロゴが表示されます。

この文書は、電子データで供給されています。印刷版をご希望の場合は、<http://widex.pro/gps-startup-guide> で無償で入手できます。配送には 7

営業日ほどかかります。また、文書は <http://widex.pro/gps-startup-guide> からダウンロードできます。

Copyright © Coselgi.無断複写・転載を禁じます。



文書バージョン : 4.0。発行日 : 2020 年 11 月



C-tune II

補聴器の選択

はじめに

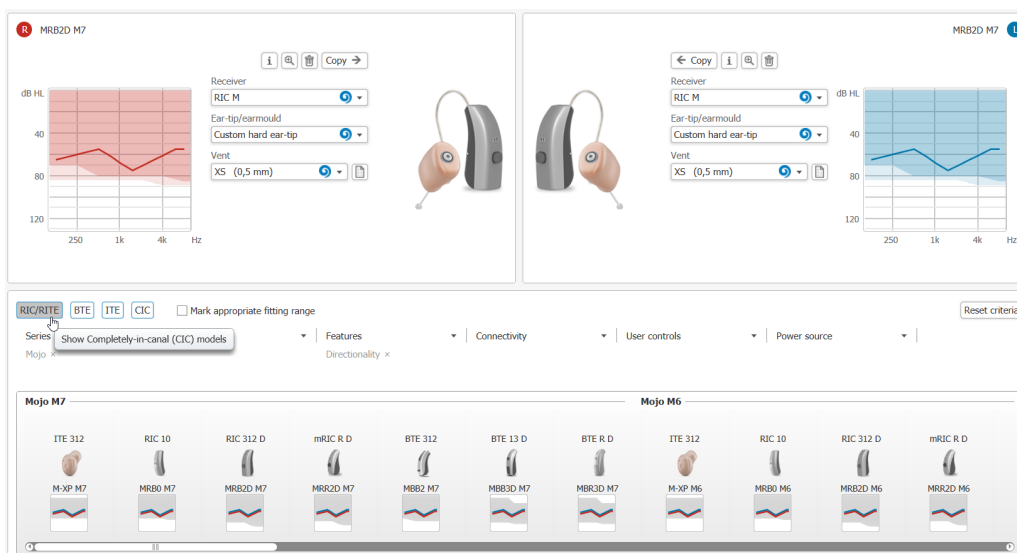
このガイドでは、C-tune II での補聴器の選択について説明します。



補聴器によっては、132 dB SPL を超える最大音圧レベルを出力します。聴力を損傷する可能性があるため、十分に注意して取り扱ってください。このような高出力の補聴器が選択されると、C-tune II は警告ダイアログボックスを表示します。

補聴器の選択

ウィンドウの中段では、シリーズ、モデルなどをドロップダウンリストやボタンを使って選択できます。ボタンで RIC/RITE、BTE、ITE、CIC の補聴器を表示して、ドロップダウンリストで補聴器をフィルターすれば、希望の要素を搭載したモデルだけを表示できます。



すべての補聴器が画面の下部に表示される初期設定に戻すには、「条件をリセット」ボタンを使用します



例えば **CIC** ボタンを選択すると、ウィンドウ下段に **CIC** モデルのみが表示されます。さらに **BTE** ボタンを選択すると、**CIC** と **BTE** のモデルが表示されます。

「適応フィッティングレンジを表示」にチェックすると、下段に表示される各モデルのフィッティングレンジ内にユーザーの聴力が入っている場合には、モデルごとにチェックマークが表示されます。

ウィンドウ下段では、ウィンドウ中段での選択内容に応じて使用可能な補聴器をすべて確認できます。これで、確認したい補聴器を選択する意味で、補聴器の表示をカスタマイズできます。水平スクロールバーを動かせば、すべてのモデルを見ることができます。

補聴器の情報

マウスポインタで補聴器モデルを選択します。補聴器モデルにマウスポインタを合わせると表示される赤い **R**（右耳用）あるいは青い **L**（左耳用）もしくは中央の赤青マーク（両耳用）を選択します。選択された補聴器モデルは、下記項目とともに画面上段に表示されます。



- モデル名（右を示す赤い **R** マークおよび左を示す青い **L** マークの横に表示）
- オーディオグラム
- フィッティングレンジ
- イヤーウェアを選択するドロップダウンリスト（補聴器により変わります）
- 情報ボタン（補聴器の情報）
- ズームボタン
- 削除ボタン
- イヤーセット情報のコピーボタン
- 補聴器の画像（指定されたイヤーウェアも表示）
- イヤーチップやイヤーモールドの適切なベントを選択する上で役立つベント換算表を開くボタン

この文書は、電子データで供給されています。印刷版をご希望の場合は、<http://widex.pro/gps-startup-guide> で無償で入手できます。配送には 7 営業日ほどかかります。また、文書は <http://widex.pro/gps-startup-guide> からダウンロードできます。

Copyright © Coselgi.無断複写・転載を禁じます。

文書バージョン : 5.0。発行日 : 2023 年 03 月



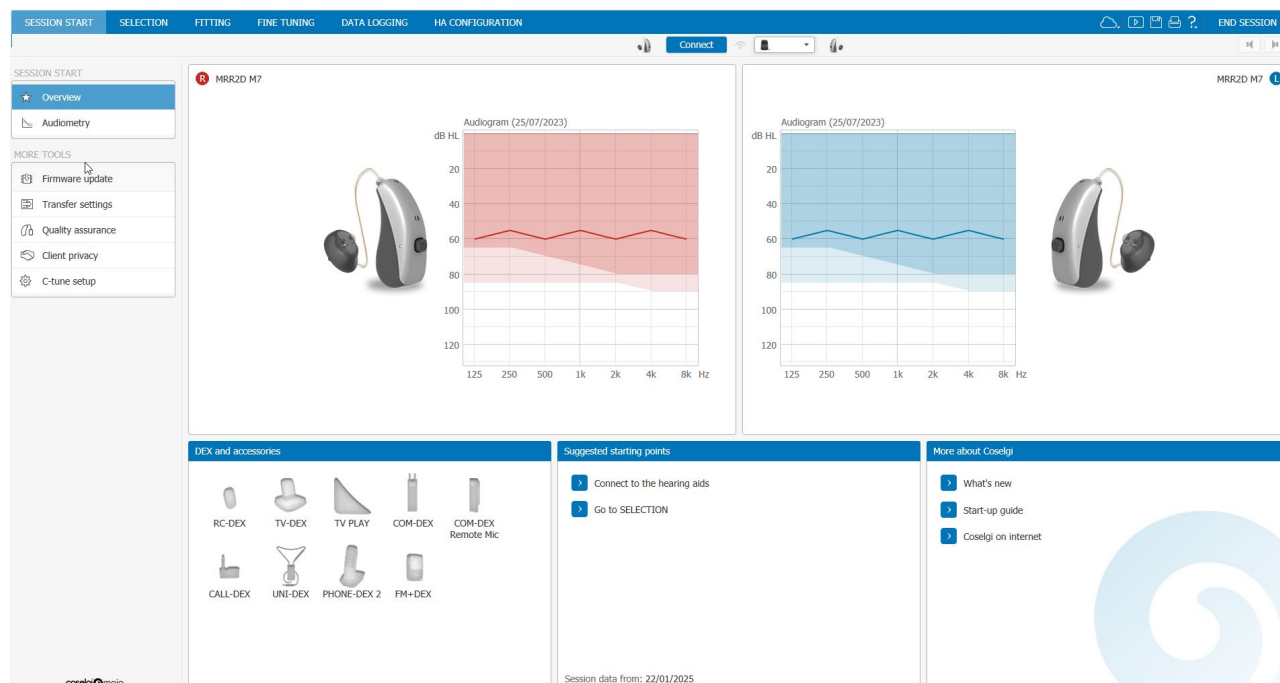
C-tune II

セッションスタート

このペインから「更新情報」ドキュメントを開くこともできます。**COMPASS** の新しいバージョンをインストールすると、「更新情報」ドキュメントへのリンクがマークされ、簡単にアクセスできるようになります。

はじめに

C-tune II を開くと、最初に「セッションスタート」の概要ウィンドウが表示されます。**C-tune** プログラムのフロントページです。



補聴器の検出

- 初回来店時：「接続」ボタンを押すと、「補聴器の検出」ダイアログボックスが開きます。補聴器が接続されると、「フィッティング」概要へ移行します。
- 再来店時：「接続」ボタンを押すと、「補聴器の検出」ダイアログボックスが開きます。補聴器が接続されると、「セッションスタート」概要へ移行します。この概要には、ユーザーの補聴器に関する新しい情報があれば、表示されます。

セッションスタートの基本情報

ウィンドウには、現在のフィッティングに関わる機器の情報、ユーザーに関する基本情報が表示されます。このウィンドウの目的を以下に記します。

- フィッティングの概要を把握する
- 前回のフィッティング/来店以降の新しい情報を確認する
- 補聴器に接続する前に必要な設定をする
- **C-tune** について理解する（初心者向け）
- 調整担当者の操作自由度を高める

各区画について

オーディオグラムエリアの下に、いくつか区画があります。「**DEX**」区画は常に表示されており、補聴器が接続されているかに応じて、「**開始可能な項目**」や「**新しい補聴器データ**」も表示されます。

- **DEX とアクセサリ**
補聴器が接続されると、使用可能な **DEX** とアクセサリが表示されます。この区画で **DEX** デバイスを選択してもマッチングできないことにご注意ください。ただし、**DEX** アイコンをクリックして **DEX** マッチングウィンドウを開くことができます。デバイスの隣に小さな緑色の矢印が表示されていれば、そのデバイスは補聴器とマッチングされています。
- **開始可能な項目**
新しいユーザーを選択すると、初回来店時でも再来店時でもこの区画が表示されますが、内容が変わる場合があります。この区画から、補聴器に接続したり、「補聴器の選択」ウィンドウに移動したりできます。
- **新しい補聴器データ**
前回 **C-tune** に接続された時から変更されているデータを表示します。これにより、前回のセッション以降の新しい情報の概要を把握できます。自動体験レベルが変更されていれば、この区画のテキストの下にあるアイコンでレベルを確認できます、
- **Coselgi の詳細**
Coselgi の詳細へのリンクを表示します。このリンクから **Coselgi** ホームページに移動して、**Coselgi** が取り扱う製品について知ることができます。

クイックガイド

このペインから「更新情報」ドキュメントを開くこともできます。**C-tune** の新しいバージョンをインストールすると、「更新情報」ドキュメントへのリンクがマークされ、簡単にアクセスできるようになります。

テキストを選択すると、一部の機能にアクセスできます。選択した機能を設定できるウィンドウへ直接移動します。

セッションスタートツール

「セッションスタート」ウィンドウから多数のツールを使用できます。

- **ファームウェアアップデート**を利用すると、補聴器や補助デバイスに利用可能なアップデートをインストールできます。この機能はすべての補聴器で利用できるわけではありませんので、注意してください。
- **データ移行設定**を利用すると、ペアのうち1つの補聴器を置き換えられます。ペアのうち1つの補聴器しか利用できず、ペアリングを解除することなく置き換える必要がある場合、この機能を利用してください。
- **品質確認**では、補聴器の機器をチェックして、テストボックスで補聴器をテストできます。
- **補聴器データ移行**では、同一シリーズの補聴器間で設定をコピーできます。この機能はすべての補聴器が対象ではありません。
- **C-tune 設定**では、**C-tune II** プログラムの全般的な設定を変更できます。例えば、言語や最初に表示するグラフの選択が可能です。

この文書は、電子データで供給されています。印刷版をご希望の場合は、<http://widex.pro/gps-startup-guide> で無償で入手できます。配送には7営業日ほどかかります。また、文書は <http://widex.pro/gps-startup-guide> からダウンロードできます。

Copyright © Coselgi. 無断複写・転載を禁じます。

文書バージョン : 6.0。発行日 : 2025 年 1 月



C-tune II

データ移行設定

はじめに

このクイックガイドは、C-tune IIにあるデータ移行設定ツールについて説明します。「セッションスタート」画面の左側のメニューから選択可能です。補聴器のペアのうち1つを置き換える際、リンク機能を失うことなく、保存済みのデータベースセッションから新しい補聴器へ補聴器の設定をコピーできます。

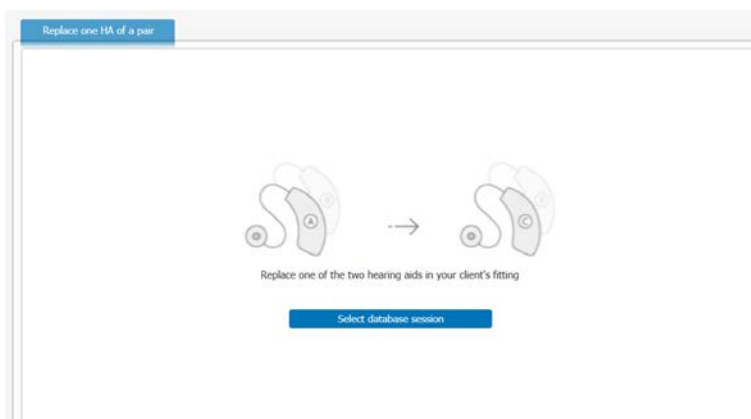
補聴器のペアのうち1つを置き換える

ペアのうち1つの補聴器しか利用できず、ペアリングを解除することなく置き換える必要がある場合、この機能を利用できます。お客様の補聴器の1つに不具合がある場合などに、この機能は役立つ場合があります。

注：同一の補聴器で置き換える必要があります。前に使っていた補聴器と同じシリーズ、モデル、クラスのものである必要があることを、意味します。

リンク機能をすべて維持した状態でペアリングされている補聴器を置き換えるには：

1. 「セッションスタート」ウィンドウより「データ移行設定」を選択します。「補聴器のペアのうち1つを置き換える」タブ内にウィンドウが開きます。
2. 「データベースセッションの選択」をクリックすると、データベースからインポートできる有効なセッションが一覧表示されます。
3. すべての有効なセッションが、新



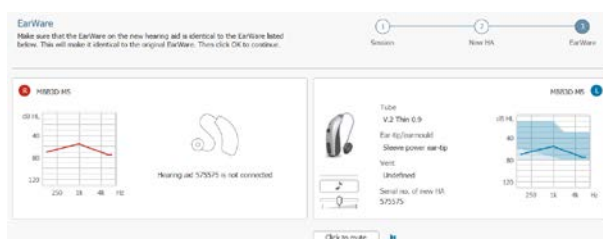
クイックガイド

しいものから順に表示されます。セッションは両耳でなければ有効になりません。使用するセッションを選択し、接続する新しい補聴器を準備し、「新しい補聴器へ接続」を選択します。

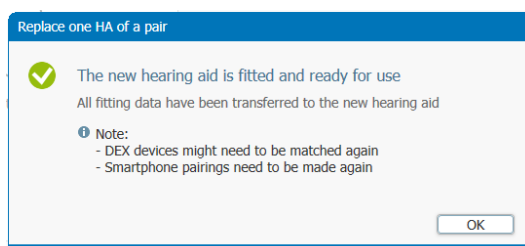
4. C-tuneが、選択したセッションに適合する検出された補聴器を表示します。検出された補聴器のリストの中から置き換える側を選ぶことで、新しい補聴器を選択できます。「次へ」を選択します...



5. C-tuneが、新しい補聴器を表示します。その際、保存済みのセッションから読み込まれたイヤウェア情報も表示されます。実際のイヤウェアが、前に使っていた補聴器と同じであることを確認してください。「OK」ボタンを選択します。



6. C-tuneが、最新のファームウェアが新しい補聴器で利用可能になっていることを確認し、データをインポートし、「フィッティングの概要」ウィンドウを表示します。この際、補聴器がフィッティングされ、使用できる準備が完了したことを伝えるメッセージが表示されます。「OK」を選択して、メッセージを閉じます。



新しい補聴器が接続され、ペアのもう一方の補聴器が現在利用可能になっていないことが画面に表示されます。

注：DEXデバイスを再度マッチングする必要があるかもしれません。前に使っていた補聴器がスマートフォンとペアリングされていた場合は、ペアリングを再度行う必要があります。

この文書は、電子データで供給されています。印刷版をご希望の場合は、<http://widex.pro/gps-startup-guide>で無償で入手できます。配送には7営業日ほどかかります。また、文書は<http://widex.pro/gps-startup-guide>からもダウンロードできます。

Copyright © Coselgi.無断複写・転載を禁じます。

文書バージョン：1.0発行日：2022-05